



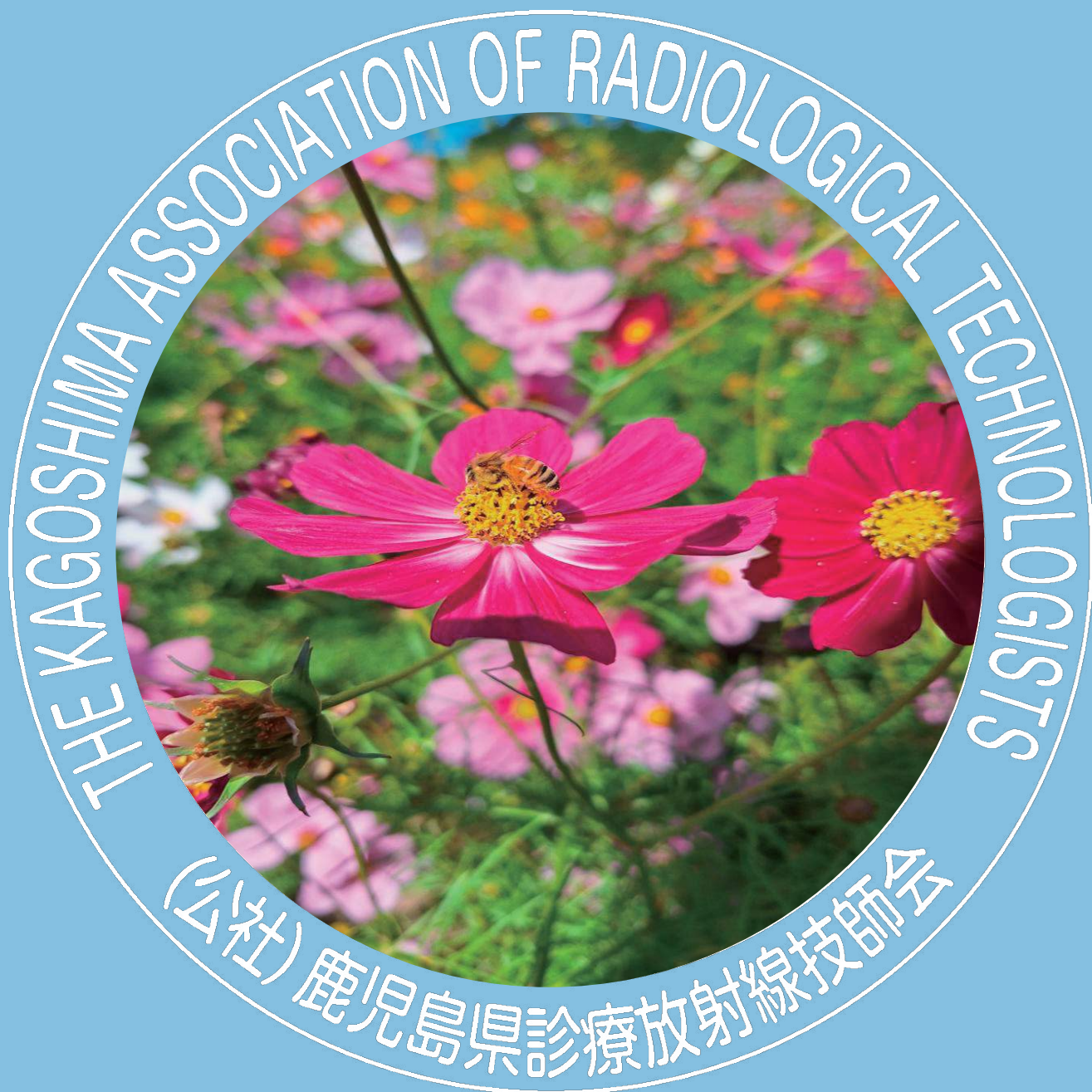
公益社団法人

鹿児島県診療放射線技師会

# 会報

令和7年9月

第143号



公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

鹿児島市東坂元4丁目28-11

TEL 099-248-0028

第20回 2025 The Annual Meeting of the  
Kyushu Radiological Medical Technology

# 九州放射線医療技術学術大会 in鹿児島

●テーマ  
Strategy

～次世代医療に活かされる放射線技術学～

第71回 九州放射線技師学術大会  
第74回 公益社団法人日本放射線技術学会九州支部学術大会

会期: 2025年11月1日(土)・2日(日)

会場: カクイクス交流センター (かごしま県民交流センター) 大会長 太田原 美郎(明輝会クリニック)  
実行委員長 豊田 雅彦(鹿児島大学病院)

主催: 九州地域放射線技師会/公益社団法人日本放射線技術学会九州支部/公益社団法人日本診療放射線技師会

事務局: 〒892-0838 鹿児島県鹿児島市新屋敷町26-13 相良病院・さがらパース通りクリニック 放射線技術部

E-mail:krmt2025.kagoshima@gmail.com



in KAGOSHIMA

## 鹿児島県診療放射線技師会 会報 第143号 目次

【巻頭言】	鹿児島県診療放射線技師会 会長 大迫 俊一	2
【挨拶】	退任及び就任のご挨拶	3
【お知らせ】	公式 LINE アカウント登録のお願い	6
	会報電子化のお知らせ	7
	組織理事よりお知らせ	8
	会計だより	10
【報告】	令和7年度 春季学術大会 開催報告及び会員発表	11
	令和7年度 フレッシュャーズセミナー 開催報告	22
	第78回鹿児島消化器画像研究会 第28回鹿児島超音波研究会 開催報告	24
	令和7年度 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 開催報告	26
	令和7年度 第2回告示研修 開催報告	28
	令和7年度 第3回告示研修 開催案内	29
【議事録】	令和7年度 第2回常務理事会 議事録（抄）	30
	令和7年度 第3回理事会 議事録（抄）	33
【行事・活動予定】		40
【鹿児島県診療放射線技師会 役員名簿】		42
【編集後記】		43
【企業広告】		44

## 《巻頭言》

鹿児島県診療放射線技師会 会長

大迫 俊一

このたび、2025年度より公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会会長を拝命いたしました大迫俊一と申します。歴代会長をはじめ諸先輩方が築いてこられた伝統ある技師会の舵取りを担うこととなり、身の引き締まる思いであります。

私はこれまで理事として3年、総務理事を2年、副会長兼総務理事を2年間務め、多くの方々に支えていただきながら会務に携わってまいりました。現在、鹿児島県診療放射線技師会は約650名の会員で構成され、県内各地の医療現場を支えています。鹿児島は離島や大隅半島など地理的条件が多様であり、鹿児島市内までのアクセスが容易でない地域もあります。そのためWeb配信を活用した情報提供や研修会の充実に力を入れてきました。近年では現地開催とのハイブリッド形式も積極的に取り入れ、会員同士がつながる場としても活用しています。

診療放射線技師を取り巻く環境は、医療制度改革やタスク・シフト/シェアの推進などにより日々変化しています。次世代を担う若手技師の育成にも力を注ぎ、研修会などの取り組みを通じて、技師会全体の活性化を図ってまいります。また、定期的な意見交換の場を積極的に設けることで、現場の声がより迅速に会務に反映されるよう努めます。

鹿児島県診療放射線技師会がさらなる飛躍を遂げ、地域医療の発展に貢献できるよう、役員一同全力を尽くしてまいります。今後とも皆さまのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 会長退任に際してのご挨拶

明輝会クリニック 太田原 美郎

このたびの第104回定時総会をもちまして、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会会長を退任することとなりました。微力な私が、8年間にもわたり大過なくその任を果たせましたのも、皆様方のひとかたならぬご厚誼の賜物と存じ、深く感謝申し上げます。

今後につきましては誠に微力ではございますが、監事として県技師会発展のため専心努力いたしたいと思っております。引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

後任の会長には、副会長でありました大迫俊一が就任することとなりましたので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、末筆ながら皆様的一段のご健勝をお祈りいたし、まずは書面をもちましてご挨拶とさせていただきます。

## 理事退任に際してのご挨拶

いまきいれ総合病院 浮田 啓一郎

2016年から鹿児島県診療放射線技師会理事として活動して参りました。途中コロナ流行期と重なったこともあり、満足いく活動ができない時期もございましたが、前半は学術としてピンクリボンやレントゲン週間イベント等の開催、後半は広報として会報編集等に携わせて頂きました。8年間の活動を通じて会員の皆様との新しい出会いや、様々な経験をさせて頂きました。

そして鹿児島県診療放射線技師会会員の皆様へはイベント等でのボランティアや会報執筆で多大なご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今回節目ということで後任の米重理事、四本理事に仕事を引き継ぐことにいたしました。引き続き鹿児島県診療放射線技師会をよろしく願います。

米盛病院 伊藤 大助

処暑の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、4期8年にわたり理事を務めさせて頂きました。あっという間の8年でしたが、組織担当・学術担当・地域担当と幾つかの役割も経験し、私にとって大変貴重な時間となりました。至らぬ点多々あったかと思いますが、ご協力くださった会員の皆様、会長はじめ理事各位に、この場をお借りして心から御礼申し上げます。今後も私は一会員として微力ながら、引き続き皆様と共に技師会の発展に協力していきたいと考えております。鹿児島県診療放射線技師会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

## 副会長就任に際してのご挨拶

今村総合病院 恵 智徳

この度、鹿児島県診療放射線技師会の理事（副会長）を務めさせて頂くことになりました恵です。放射線技師としてのキャリアをスタートさせて以来、この会の活動を通じて多くの学びと経験をさせて頂きました。今度はその恩返しをするべく、微力ながら会の発展に貢献したいと考えております。至らぬ点があるかと思いますが、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、会員の皆様との連携を密にし、親しみやすく活気ある会務運営に努めてまいります。よろしくお願い致します。

## 理事就任に際してのご挨拶

上町いまきいれ病院 四本 斉

このたび鹿児島県診療放射線技師会の理事を務めさせて頂くこととなりました上町いまきいれ病院の四本です。引退間近の老兵ではありますが、新人理事としてできることを一つ一つこなし、皆様と力を合わせ会の発展に尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

メディポリス国際陽子線治療センター 戸川 憲二

今年度より学術担当理事を拝命しました、メディポリス国際陽子線治療センターの戸川憲二と申します。南北 600 km に渡る全国有数の離島県、鹿児島では、現在 1000 名を超える診療放射線技師(その内 6 割は技師会員)が活躍されているそうです。私自身、技師会運営に携わるのは初めてですが、有益な情報を県内各地で活躍する皆さんにお届け出来るよう尽力して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

鹿児島医療センター 竹尾 晃一

今年度より鹿児島県診療放射線技師会の理事を務めさせて頂くことになりました、鹿児島医療センターの竹尾晃一です。4 月から転勤により鹿児島で勤務することになりました。勤務地として鹿児島県は初めてで不安な思いもあるのですが、同時に技師会活動を通して、色々な人と交流を深めることができるのではないかと期待もあります。不慣れなため至らない点多々あるかと思いますが、自分の役割をしっかりと果たしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

医療法人結縁会 ひらやま脳神経外科 武宮 太

この度、鹿児島地域理事ならびに学術理事を務めさせていただくことになりました武宮です。  
初めての技師会理事ですので分からない事だらけではありますが、会長をはじめ諸先輩方のご指導の下、  
会員の皆様の技術や知識の向上・発展に少しでも寄与できるよう務めさせていただきます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

鹿児島医療技術専門学校 藤村 卓也

このたび、鹿児島県放射線技師会理事を務めさせて頂くことになりました。  
役員経験も浅く、不安な点多々ありますが、諸先輩方のご指導を賜りながら、技師会運営の一助と  
なれるよう努めてまいります。  
微力ながら誠心誠意取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

米盛病院 屋部 太輔

この度、鹿児島県診療放射線技師会の理事を務めさせていただくこととなりました屋部です。  
今までは会員の一人として、先輩方の企画する各種研究会やイベントに参加させていただきました。  
運営する側に在籍するのは初めてですが、今後は会員の方々と一緒に有意義な活動ができるように、先  
輩方の背中を見ながら邁進して参ります。よろしくお願いいたします。



# 会員専用 LINE 公式アカウント



友だち追加はこちら!!

- ① 行事・研究会のお知らせ
- ② 研究会アーカイブ配信案内
- ③ 会員限定サポート情報
- ④ 過去の会報 (今後予定)
- ⑤ 災害・緊急時の連絡

## 鹿児島県診療放射線技師会 会報 の電子化について

鹿児島県診療放射線技師会

会長 大迫俊一

これまで本会では、会報発行にかかる費用の削減を目的に、ページ数の制限や会報とニュースの発行に関する見直しなど、様々な工夫を行ってまいりました。

しかしながら、近年の印刷費や郵送費の高騰により、1回の会報発行にかかるコストが増加傾向にあります。

そこで本会では、令和8年度より、会報およびニュースレターの電子化（PDF形式）を段階的に導入することを検討しています。

電子化された会報・ニュースレターは、鹿児島県診療放射線技師会ホームページの会員専用サイトに掲載し、会報およびニュースレターをアーカイブ化することで、いつでも自由に閲覧できる環境を整備する予定です。

また、電子化により削減される経費を活用することで、会報を全面カラー化や、内容の充実を図るとともに、地域活動や研究会等への支援にも積極的に充てていく方針です。

これにより、より多くの会員の皆さまにとって有益で魅力ある情報発信が可能になると考えています。

なお、紙媒体での会報を引き続き希望される会員の皆さまには、従来どおり郵送にてお届けする対応を予定しております。

電子化に関するご意見やご希望等をお伺いするため、今回アンケートを実施いたしますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

下記のURLまたは2次元バーコードからアンケートにお答えください。

URL : <https://forms.gle/cqFQwqMF5fQqz2GP8>



締め切り : 2025年11月30日(日)

# 組織理事よりお知らせ

組織担当 木場淳

## 1.入会案内につきまして

(公社)日本診療放射線技師会では、今年度より技師籍登録初年度の入会費用が「無料!」となっております、大変お得に入会することが出来ます。(※なお本会分の年会費 7500 円は必要です)

同施設で入会されていない新人の方や、お知り合いで未入会の方がいらっしゃいましたら是非とも入会をお勧めください。

入会種別		入会金	年会費	初年度合計
通常入会	日本診療放射線技師会	5000	14000	19000
	鹿児島県診療放射線技師会	0	7500	7500
				<b>26500</b>
技師籍登録初年度	日本診療放射線技師会	無料	無料	無料
	鹿児島県診療放射線技師会	0	7500	7500
				<b>7500</b>

## 2. 退会手続きにつきまして

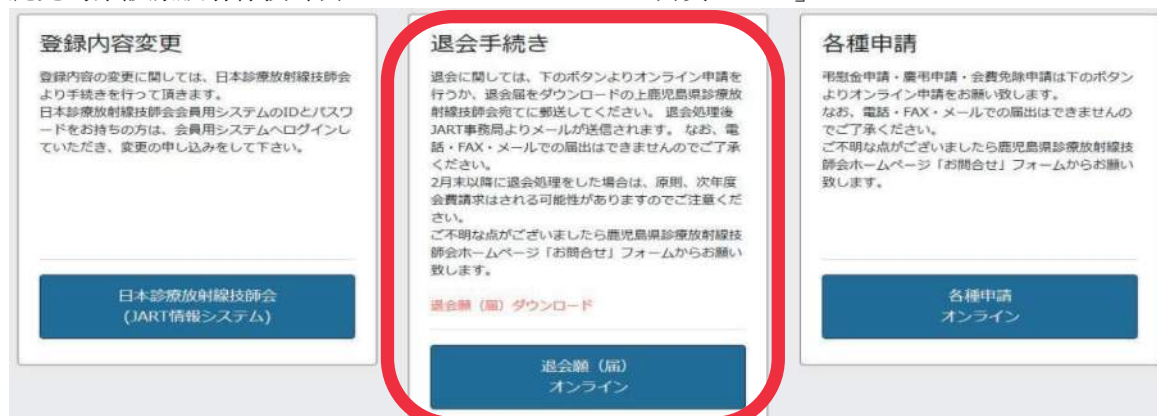
当会からの退会を希望される場合は、当会ホームページの会員サイトにログインしていただき、ページ下の「退会手続き」からのオンライン申請をお願い致します。不可能な方は退会届ダウンロードし当会宛の郵送でも構いませんが時間を要してしまいます。また当会では電話・FAX・メールでの届出はできませんのでご了承ください。なお年度末退会をお考えの方は 2 月末以降に退会申請された場合、原則、次年度会費請求される可能性がありますのでご注意ください。

※退会する場合は、当年度までの会費を納める必要があります。

※当会退会と同時に公益社団法人日本診療放射線技師会も退会となります。



鹿児島県診療放射線技師会ホームページメニュー「会員サイト」よりログイン



会員サイトトップページ下「退会手続き」よりオンライン申請

### 3.会員情報の変更について

会員情報が変更になられた際には JART 会員情報システム (JARTIS) 登録の変更をお願いします。  
また県ホームページの会員サイトも個人情報の編集をお願い致します。

本会はこの情報を基に活動させていただいております。皆様のご協力をお願いいたします。

#### ①JART 情報システムの変更方法

JARTIS ログイン → 「登録情報を確認・変更する」 → 「編集」もしくは "鉛筆" マークをクリック

■会員情報

[病院等施設の名称や所在地を登録・変更する](#) [会費の免除を申請する](#) [ラダーの取得状況を確認する](#)

本システムでは病院等施設の名称や所在地を一元管理しております。開業に伴う新規登録、移転等による所在地変更、合併等による名称変更を連絡する場合は、こちらより承っております。※手続きの詳細はこちらをご覧ください。

以下の条件に該当する場合は会費の一部、もしくは全額が免除されます。会費の免除申請を希望される方は、こちらよりご申請いただけます。

○休職のための会費免除申請  
・長期療養、介護、海外勤務等により休職する場合  
・出産・育児により休職する場合

クリニカルラダー・マネジメントラダーのレベルやカウントなどの取得状況をご確認いただけます。

[登録情報を確認・変更する](#)

ご自身の登録情報(住所・勤務先・学位等)の確認と変更を行っていただけます。

※このページの「連絡先(会誌・書類等送付先)」が会誌の送付先となります。

送付先を変更される際は、こちらのプルダウンメニュー(自宅、勤務先)より選択してください。

#### ②県ホームページ会員サイトの編集方法

会員サイトログイン→左上 CacaoBiz アイコン→設定→個人情報編集→更新保存

政見聴取等投票用紙届出者会員ページ

電子投票の予定  
※会費参加予定ですか電子投票予定ですか  
データはありません。

投稿・更新日	タイトル
2025年2月28日	令和6年度鹿児島地域研修会(学術貢献講演)
2025年2月28日	第28回乳がん検診研修会

鹿兒島 太郎 (カゴシマ タロウ)

パスワード ..... ログインパスワード

電話 電話番号

生年月日 性別 選択

個人情報 写真

勤務先名

勤務先干

勤務先住所

勤務先

プライベートメール

電話 携帯

連絡先住所

自宅

# 会計だより

公益社団法人  
鹿児島県診療放射線技師会  
財務 木原悠太  
屋部太輔

## 令和7年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、日本診療放射線技師会費および鹿児島県会費・九州地域放射線技師会費の会費合算請求を行っております。

JARTより郵送される支払いに関する書面の手順をご確認のうえ、会費の納入をお願い致します。

尚、支払い期限の2025年9月30日(火)を過ぎますと、日本診療放射線技師会からの委託金も減額されてしまいますので、お早目の納入を重ねて宜しくお願い致します。

## 除籍者に対する未納会費(債権)回収について

JART 発刊の NetworkNow(2022/4)にて、すでにご存じの通り、債権の回収が始まっております。

鹿児島県におきましても、除籍者に対する未納会費回収を JART と行っております。

今年度督促状が郵送された方の中には、会費の支払い忘れによる不本意な除籍となってしまう督促状が届いた方もいらっしゃると思います。

現在、会費の支払い方法は窓口支払いとクレジットカード支払いが選択できますので、クレジットカード支払いへの切り替えをご検討くださいますようお願い致します。

第556号  2022年4月1日 毎月1回1日発行 (7)

---

### 会費未納による除籍者から債権の回収委託を開始致します

すでに会誌に掲載しております通り、2021年10月2日開催の2021年度第3回理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については2022年4月1日付で会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始致します。詳細は下記にお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ：日本診療放射線技師会 財務担当 江端 清和 E-mail : info@jart.or.jp

INFORMATION

# 令和7年度（公社）鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会・シンポジウム 開催報告

学術担当 藤崎 誠

今年度の（公社）鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会は、6月8日（日）に鹿児島市立病院 1階 多目的ホールにて、会場とWeb参加のハイブリッド方式で、会員発表とシンポジウムの2部構成で開催された。参加者は、67名（診療放射線技師65名）であった。

シンポジウムは、「診療放射線技師の静脈注射、もう始めていますか？～先駆者からのアドバイス～」と題し、シンポジストにはいづろ今村病院看護部長の上原奈津美先生、いづろ今村病院教育担当師長の平石敬美先生、いづろ今村病院画像診断科の脇田慎一技師長、古賀総合病院放射線技術部の篠原暢孝技師長にご登壇頂き、診療放射線技師の静脈路確保について気を付けなければならないことや実施に至るまでのエピソード、現在の問題点などをご講演頂いた。講演後のシンポジウムでは予定時間を過ぎるほどの質問が相次ぎ、各施設で静脈路確保業務に向けて真剣に取り組んでいる姿が見られた。

今年度中には他の施設でも診療放射線技師による静脈路確保をはじめ、タスクシフト／シェアが推進されていくことが期待できると感じた。会員発表は、3演題のエントリーとなった。演題は、PET、CT、放射線治療と多岐に渡る内容で、それぞれの施設で頑張っている演者の方の研究結果や試みの発表があり聴講された会員には大変勉強、参考になったのではないかと思う。（発表内容は本誌に掲載）

今年度、（公社）鹿児島県診療放射線技師会では、11月22日（土）に秋季学術大会を霧島始良地域と合同で開催予定ですので、演題のエントリーと多数の方の参加をお願い致します。

## 「学術大会プログラム」

【会員発表】 13時20分～13時50分 座長 鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 本村 克朗

1. 「当院に導入されたOmni Legend 32の使用経験」

鹿児島共済会南風病院 放射線技術科 佐々木 迅凌

2. 「CT造影検査における造影剤自動注入器の違いがCT値に与える影響」

鹿児島市立病院 放射線技術科 木原 悠太

3. 「ガンマナイフ治療を支える技師の力～照射精度と連携が導く治療の質向上～」

公益財団法人慈愛会 今村総合病院 診療放射線部 蓑田 辰則

【シンポジウム】 14時00分～16時30分

座長 川内市医師会立市民病院 藤崎 拓郎

「診療放射線技師の静脈注射、もう始めていますか？～先駆者からのアドバイス～」

1. 看護部の立場から（病院管理者） 「当院看護部でのタスクシフトの取り組み」

いづろ今村病院 看護部長 上原 奈津美 先生

2. 診療放射線技師の立場から 「当院における静脈路確保業務への取り組み」

いづろ今村病院 画像診断科 脇田 慎一

3. 他県施設の診療放射線技師から 「当院における静脈路確保業務への取り組み」

古賀総合病院 放射線技術部 篠原 暢孝

4. 看護師の立場から（再教育） 「静脈路確保を始める放射線技師に知ってもらいたいこと」

いづろ今村病院 教育担当師長 平石 敬美 先生

【会場風景】



本村氏

【会員発表】



佐々木氏



木原氏



藁田氏

【シンポジウム】



藤崎氏



上原先生



脇田氏



平石先生



篠原氏



討論会

# 当院に導入された Omni Legend 32 の使用経験

鹿児島共済会南風病院 放射線技術科 佐々木迅凌

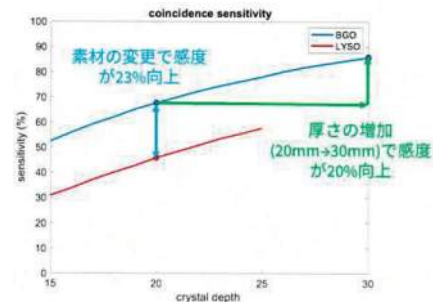
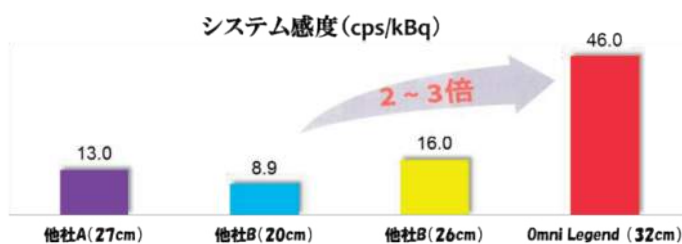
## 【背景】

PET-CT 装置の更新により 2025 年 1 月に GE 社製半導体 PET-CT「OmniLegend32」が導入された。

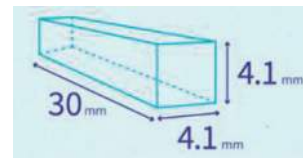
## 【性能・機能】

○クリスタルと体軸方向視野 ○EnhancedAC ○PrecisionDL ○DL3D カメラ

### ◎クリスタル(感度)



- ・クリスタル素材はルテチウム系が主流のなか、感度の高い BGO を使用している。
- ・クリスタルのサイズは 4.1mm×4.1mm と従来よりも小さく、空間分解能が向上した。また、その厚さは 30mm に増加し、他社と比較してシステム感度は大幅に向上した。



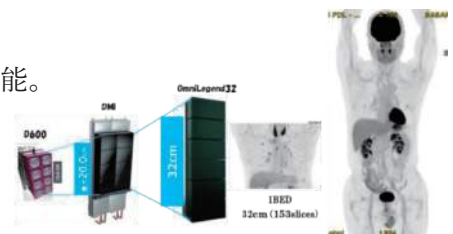
### ◎クリスタル(空間分解能)

- ・クリスタルのサイズは 4.1mm×4.1mm と従来よりも小さく表に示す様に空間分解能も向上した。

空間分解能(mm)	Omni Legend	他社A	他社B
断面方向1cm	1.4	3.6	5.0
断面方向10cm	1.5	4.0	5.5
体軸方向1cm	2.5	3.4	5.0
体軸方向10cm	3.0	5.0	5.5

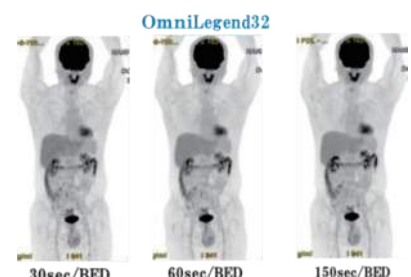
### ◎体軸方向視野

- ・検出器は 32cm とかなり大きく、1 視野で広範囲の撮像が可能。胸部の範囲であれば 1BED、全身（頭部から骨盤部）は 4BED で撮像可能。



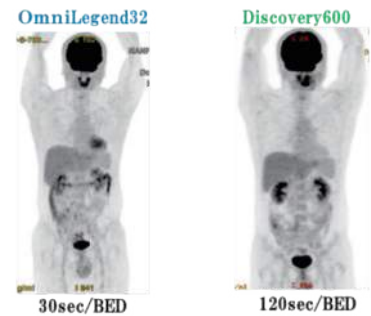
### ◎収集時間の変化による画質の比較

- ・同一患者で収集時間を変化させた場合の画像を比較した。150sec/BED の画像が最も高画質ではありますが、30sec/BED の画像でも十分な画質が得られている。



### ◎装置の違いによる画質の比較

- ・30sec/BED の画像と以前の装置を比較した。  
以前の装置（Discovery600）では 1BED120s かけていますが Omni Legend32 では 1BED30s でも劣らない画像が得られている。

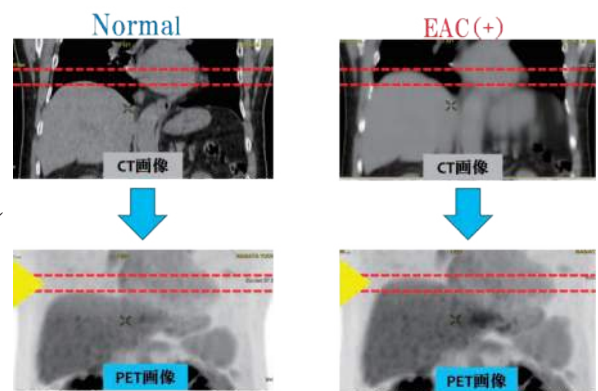


### ◎EnhancedAC

- ・横隔膜領域に対して PET 画像の集積位置に合わせ込むように CT 画像を非線形で歪ませ補間し、次に新しい CTAC を生成。この新しい CTAC で PET 画像を減弱補正することで、PET と CT の画像が一致し、吸収補正の正確性が向上。また横隔膜領域の位置ずれによるバナナアーチファクトが改善される。

- ・ノーマルの CT で減弱補正した場合黄色い矢印の箇所に位置ずれによるアーチファクトを生じている。

EnhancedAC により作成された CT で減弱補正した画像は先ほどのアーチファクトが改善されているのがわかります。



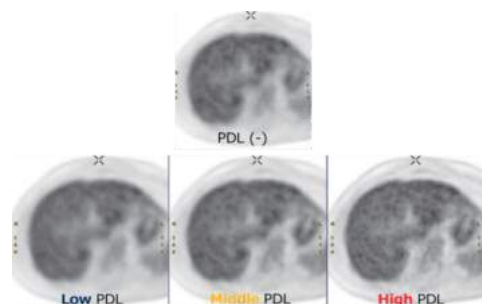
### ◎OmniLegend32 の再撮影率

- ・OmniLegend32 の再撮影率を当院にあるもう一台の装置 DiscoveryMI と比較した。DiscoveryMI では呼吸ずれによる再撮影率は 10.2% でした。それに比べ OmniLegend32 では 1.8% と低く EnhancedAC による効果があきらかとなった。

	DiscoveryMI	OmniLegend32
4月撮影数 (件数)	108	112
再撮影数 (件数)	11	2
再撮影率 (%)	10.2	1.8

### ◎PrecisionDL

- ・これは洗練されたディープニューラルネットワークで設計され、数千枚の画像でトレーニングしています。PDL の技術によって小さく低コントラストの病変検出能を向上させることが出来る。
- ・PDL は AI メソッドから **LOW Middle High** の 3 種類を選択でき、強くかけるほどエッジが立った画像が生成される。
- ・当院では放射線科医との協議の結果ミドルの PDL を使用している。



## ◎Deep Learning 3D カメラ

- ・撮影室天井に設置した AI カメラが作動し、ランドマークから撮影範囲を認識しワンクリックでオートポジショニングを行う。これにより、ワークフローの向上、検査効率が向上。また、セットアップ時間が短くなり、技師の被ばく線量の低減に貢献する。



天井に設置したAIカメラが作動し、ランドマークから撮影範囲を認識。

### ◆ 患者セットアップ\*時間比較

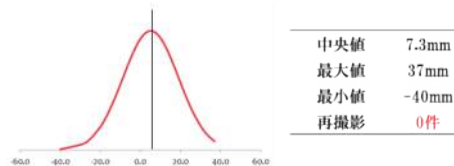
患者セットアップ時間を従来法と比較した。当院の技師3名がセットアップする時間を測定したところ従来法に対して約40%短いという結果となり、大幅に患者セットアップ時間が短縮したことがわかりました。

	従来法	DL3Dカメラ法	差
技師A	64秒	28秒	-36秒
技師B	53秒	23秒	-30秒
技師C	65秒	26秒	-39秒

※寝てからスキャンを開始するまで

### ◆ 中心からの位置ズレ

次に3Dカメラでオートポジショニングした際の体軸中心からのズレを調べた。最大ズレが4cmで、ほとんどズレが無く再撮影することはありませんでした。オートポジショニングの正確性が高いことがわかります



## 【まとめ】

Omni Legend32 は、高密度に配置された BGO 検出器によって高感度・高空間分解能を両立し、32cm の広い体軸方向視野により短時間で広範囲の撮像が可能でした。Enhanced AC 機能により PET と CT の位置ずれによるアーチファクトが軽減され、再撮影のリスクが低減しました。さらに、Deep Learning 技術を活用した Precision DL は小病変の描出に優れています。DL3D カメラはセットアップ時間の短縮と技師の被ばく低減、ワークフローの効率化にも寄与している。

# CT 造影検査における造影剤自動注入器の違いが CT 値に与える影響

鹿児島市立病院 放射線技術科 木原悠太

## 【背景】

当院では、2024 年 10 月よりボトルタイプの造影剤を使用し、複数の患者に連続して造影剤を投与することができるマルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器 Centargo(MEDRAD 社製) を導入した。

マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器では、造影剤を必要量だけ使用することができ、廃棄量を減少させることが可能となる。また、ボトルタイプの造影剤とともに生理食塩水をセットすることができ、生理食塩水と造影剤の同時注入などの多様な造影剤注入法を簡単に設定することが可能となる。加えて被ばく線量軽減、造影剤投与量減量、検査効率の向上や廃棄物の減量などを考慮した CT 検査がより実現しやすい環境を構築することができる<sup>1)~3)</sup>。

## 【目的】

マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器とプレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器の注入精度について検討を行う。

## 【方法】

1. 注入速度を変化させ 30ml 注入し、体積と CT 値の計測を行った。

- 1) 自動注入器の注入速度を 1.0ml/s~5.0ml/s まで 1.0ml/s ずつ変化させ 30ml 注入を行った。各造影剤注入器は注入開始前に生理食塩水 20ml でプライミングを行った。
- 2) CT 装置で試料の撮影を行い、CT 値の計測を行った。計測は試料の中間の画像で計測を行った。ROI は直径 7.5mm の円とした。
- 3) 試料をメスシリンダーを用いて体積を測定した。
- 4) 3 回ずつ測定を実施し、t 検定を行い有意差検定を行った。

2. 希釈造影剤の混合割合を変化させ 30ml 注入し、体積と CT 値の計測を行った。また、コントロールとして各混合割合の希釈造影剤を作成し、比較を行った。

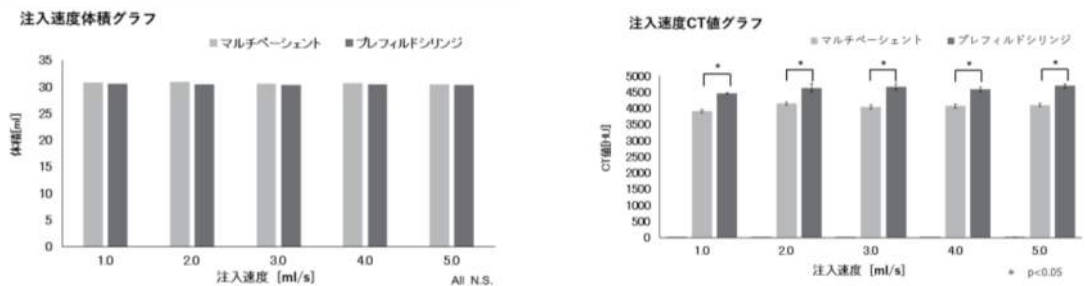
- 1) 造影剤の割合を 10%~90%まで 10%間隔で変化させ 30ml 注入を行った。各造影剤注入器は注入開始前に生理食塩水 20ml でプライミングを行った。また、コントロールとして用手的に造影剤の割合を同様に变化させ 30ml の試料を作成した。
- 2) CT 装置で撮影を行い CT 値を計測した。
- 3) 試料をメスシリンダーを用いて体積を測定した。
- 4) 造影剤量の関係上、コントロール 1 個、マルチペーシェント用 3 個、プレフィルドシリンジ製剤用 2 個作成し平均値を算出した。

## 【使用機器】

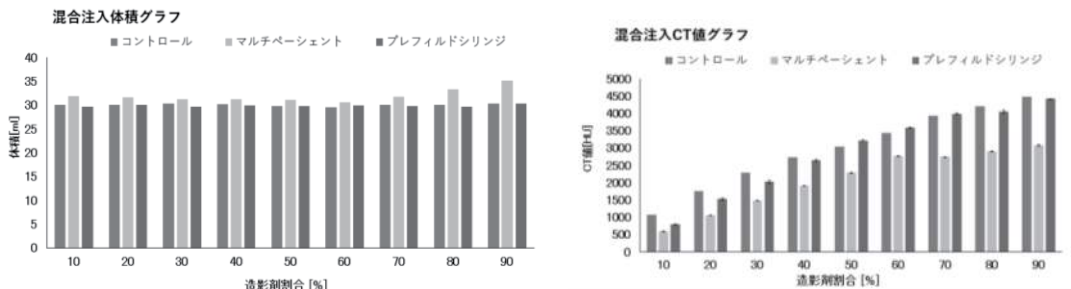
- 1) マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器
  - ・ Centargo (MEDRAD)
  - ・ 患者用ライン (メドラッド社製専用チューブ)
  - ・ 造影剤 イオパミドール 370 注 100mL バイアル (富士製薬工業)
- 2) プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器
  - ・ デュアルショット GX7 (根本杏林堂)
  - ・ トップインジェクターチューブ ダブルインジェクター用 (株式会社トップ)
  - ・ 造影剤 イオパミドール 370 注 100mL シリンジ (富士製薬工業)
- 3) CT : Aquilion ONE / PRISM Edition (Canon)
- 4) メスシリンダー 50ml (Yavoluy)

## 【結果】

1. 注入速度による体積の変化は見られず、注入器間で有意差はなかった。CT 値に関しては各装置における注入速度による CT 値の変化は見られなかったが、マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器はプレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器と比較して CT 値が低い値となった。



2. マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器で造影剤の割合が多いと設定した注入量より多く注入される傾向があった。マルチペーシェント用 CT 造影剤自動注入器はコントロール・プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器と比較して低い CT 値を示した。特に造影剤の割合が多い 70%以上でその傾向が顕著にみられた。



## 【考察】

CT 値が低下した要因として、インジェクターチューブの影響が考えられる。今回、マルチペーシエント用造影剤自動注入器では、長さ 250cm、容量約 8ml の専用チューブを使用した。一方で、プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器では、長さ 150cm、容量 3.2ml の日常臨床で使用しているものを用いて比較検討を行った。

造影剤注入前にチューブ内は、生理食塩水で満たされていることから、マルチペーシエント用造影剤自動注入器のほうが目的注入量に占める生理食塩水の割合が多くなったため、CT 値の低下が生じた可能性が考えられる。加えて、CT 値が低下した要因として、インジェクターの造影剤注入精度の影響が考えられる。取扱説明書より造影剤のみの場合はいずれの造影剤自動注入器においても注入精度に大きな差はないが、マルチペーシエント用造影剤自動注入器では、②混合注入の場合、直前の造影剤注入が 20ml 未満、造影剤割合 80%超の混合注入では目標量： $+ (4\%+7\text{ml}) / - (4\%+2\text{ml})$  とされている。一方で、プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器では、混合注入の場合、目標値 $\pm 2\text{ml}$ の精度となる。マルチペーシエント用 CT 造影剤自動注入器で造影剤割合が 80%を超えると注入量に差が出たのは、この注入精度が影響している可能性が考えられる。

### 2) インジェクターの造影剤注入精度の影響

#### 1) インジェクターチューブの影響

- ・マルチペーシエント用CT造影剤自動注入器  
長さ:250cm 容量:約8ml (メドラッド社製専用チューブ)
  - ・プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器  
長さ:150cm 容量:3.2ml (トップ社製)
- ⇒容量の差がCT値の低下に影響

- ・マルチペーシエント用CT造影剤自動注入器
    - ①造影剤のみの場合:  $\pm (2\%+1\text{ml})$
    - ②同時注入の場合  
造影剤割合80%未満または20ml超の造影剤後に実施する混合注入:  $\pm (4\%+2\text{ml})$   
直前の造影剤注入が20ml未満、造影剤割合80%超の混合注入:  $+(4\%+7\text{ml}) / -(4\%+2\text{ml})$
  - ・プレフィルドシリンジ製剤を用いた造影剤自動注入器
    - ①造影剤のみの場合:  $\pm 2\text{ml}$
    - ②混合注入の場合:  $\pm 2\text{ml}$
- ⇒造影剤割合が80%を超えると注入量の差、CT値の低下に影響

## 【結論】

マルチペーシエント用 CT 造影剤自動注入器は造影剤逆流防止のために生理食塩水を余分に注入される仕様を有する。このため、希釈造影剤を使用する際には注意が必要である。

## 【参考文献】

- 1)牛尾喜一：インナービジョン 38(10): 50-51, 2023.
- 2)久富庄平：Rad Fan Vol.22 No.13 (2024) P6-7
- 3)赤木憲明：Rad Fan Vol.22 No.4 (2024) P2-3

# ガンマナイフ治療における診療放射線技師の役割と多職種連携

## ～照射精度と連携が導く治療の質向上～

公益財団法人 慈愛会 今村総合病院

診療放射線技師 蓑田辰則

### ◆ ガンマナイフとは

ガンマナイフは、主に脳内の病変に対して行われる高精度な定位放射線治療装置である。1968年にスウェーデンの脳神経外科医 Lars Leksell によって開発され、開頭手術を行うことなく、病変部に対して高線量の放射線を集中して照射できる非侵襲的治療法として広く普及してきた。



当初はフレーム固定による単回照射が主流であったが、近年ではマスク固定による分割照射も可能となり、外来での治療実施が可能となった。また、AIや画像誘導技術の進歩により、治療の精度はさらに向上している。

ガンマナイフの大きな特徴は、正常組織への影響を最小限に抑えながら、病変部に対してピンポイントで照射が行える点にある。そのため、手術が困難な高齢者や全身状態にリスクを伴う症例においても、有効な治療選択肢となっている。

### ◆ 適応疾患

#### ● 脳腫瘍

- ・ 良性：髄膜腫、聴神経腫瘍、下垂体腺腫
- ・ 悪性：脳転移、神経膠腫

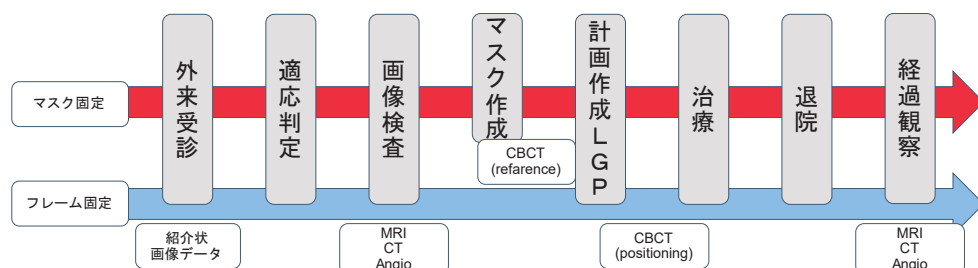
#### ● 血管性疾患

- ・ 脳動静脈奇形（AVM）、硬膜動静脈瘻（AVF）

#### ⚡ 機能性疾患

- ・ 三叉神経痛、てんかん、パーキンソン病の振戦

### ◆ ガンマナイフ治療の流れ



## ◆ 固定方法の違い（双方の比較）

### 【マスク固定】

- ・熱可塑性樹脂で顔を覆い固定
- ・非侵襲的で痛みが少ない
- ・複数回照射（分割照射）に対応

- ☑ メリット：
- ・非侵襲的
  - ・外来治療が可能
  - ・心理的負担が少ない

- ✕ デメリット：
- ・固定精度がやや劣る
  - ・モーション管理が必須
  - ・適応症が限定されることがある

### 【フレーム固定】

- ・頭蓋骨にスクリューで固定
- ・位置精度が非常に高い
- ・1回照射に適している

- ☑ メリット：
- ・固定精度が非常に高い
  - ・1回照射に最適
  - ・モーション管理が不要

- ✕ デメリット：
- ・侵襲性がある
  - ・痛み・圧迫感を伴う
  - ・外来治療には不向き

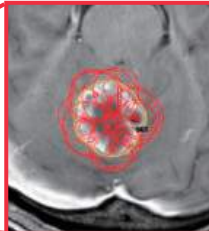
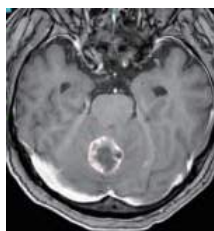


## ◆ 診療放射線技師の主な役割

診療放射線技師は、ガンマナイフ治療の複数の専門的な工程に関与し、治療の安全性と精度を支えている。まず、治療時にマスクまたはフレームを用いて患者の頭部を正確に固定する。固定具の装着時には、位置の精密さだけでなく、患者の不安を軽減するためのコミュニケーション等の配慮も忘れずに行う。治療計画に必要となる MRI や CT などの高品質な画像撮影を行い、得られた画像は、Leksell Gamma Plan（治療計画ソフト）に取り込まれ、画像融合やプラン構築（※Lightning 使用）の工程で技師が積極的に関与している。照射当日は、CBCT（コーンビーム CT）による位置確認や、※HDMM（高精度動体モニタリング）を用いた頭部の動きの管理を通じて、治療の高精度を保証する。これらの業務を通じて、診療放射線技師はガンマナイフ治療の質と安全性を支える重要な役割を担っている。

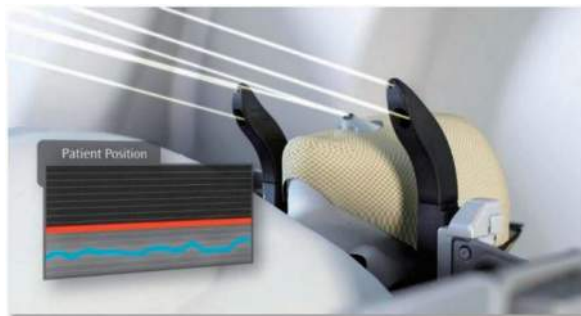
## ◆ Lightning プランニング

Lightning とは、AI を活用して自動的に照射計画を作成するツールで、腫瘍や正常組織の形状・位置を認識し、最適な治療プランを提案する。このツールの主なメリットとして、計画作成時間の大幅な短縮、複雑な病変への対応力、そして初学者でも一定の品質を確保できる点が挙げられる。一方で、照射時間が長くなるプランが生成される場合もあるため、最終的なプランについては医師と放射線技師が協力して検証を行う必要がある。



### ◆ HDMM によるモニタリング

HDMM (High-Definition Motion Management) は、マスク固定中の患者の頭部の動きをリアルタイムかつ高精度に監視するシステムである。赤外線マーカーにより 0.1mm 単位で動きを検出し、あらかじめ設定された閾値 (当院の通常治療は 1.5mm) を超えた場合には、自動的に照射が停止される。その後、診療放射線技師の声掛けによる補正、または CBCT を再撮影し、位置の再評価・補正を行うことで、安全かつ正確な治療が継続される。HDMM は、患者と医療者の双方にとって安心できる治療環境を提供する重要な役割を果たしている。



### ◆ 多職種連携の重要性

ガンマナイフ治療は、診療放射線技師のみで完結するものではなく、脳神経外科医、看護師、リハビリスタッフ、事務スタッフなど、多くの職種が連携することで初めて安全かつ円滑に実施される。具体的には、治療計画の承認は医師と放射線技師が協力して行い、患者の固定具装着やベッド移動時には看護師との連携が欠かせない。また、治療スケジュールの調整や患者案内などにおいては、受付や事務スタッフのサポートが重要になる。このようなチーム医療によって、患者にとって安心で質の高い治療環境が実現されている。

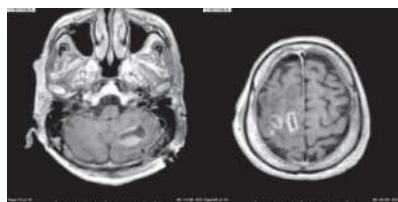
### ◆ まとめ

ガンマナイフは、開頭手術を行わずに高精度な治療を可能とする非侵襲的な脳治療装置であり、患者への負担を最小限に抑えながら効果的な放射線治療を実現する。その中で診療放射線技師は、治療計画から実際の照射に至るまで、治療の精度と安全性を支える重要な役割を担っている。

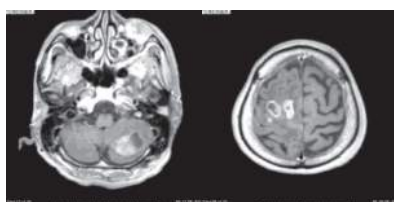
近年では、AI を活用したプラン作成ツール「Lightning」や、動体管理システム「HDMM」といった先進技術の導入、さらに医師・看護師・リハビリスタッフ・事務スタッフとの多職種連携により、より質の高い医療提供が可能となっている。

今後も、日々進化する技術や知識の習得に努めながら、患者に信頼される放射線治療を提供していくことが私たちの使命となる。

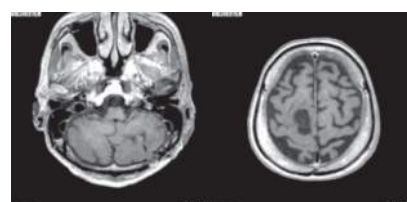
### ◆ 治療例



治療前



治療中 (治療開始 8 日目)



治療後 (3 か月後)

## 令和7年度 フレッシュャーズセミナー（開催報告）

（公社）鹿児島県診療放射線技師会 学術 藤崎 誠

今年度は、下記日程・内容にて、対面形式 Web 併用での開催となりました。

コロナ感染拡大対策として、JART からの指定講座のみの内容とし、セミナー後の情報交換会は簡単な自己紹介としました。

今年度は梅雨時期の開催で空模様が心配されましたが、雨も降ること無く開催できました。

研修では講師陣の熱弁ぶりを拝聴することができました。受講者もそれに応えるべく真剣な姿を拝見することができました。また、最後の自己紹介では皆さんそれぞれの自己PRをされていました。終了後しばらく参加者同士後ろの方でお話しをされていたのが印象的でした。若い方のコミュニティーを広げられる一助となれたと思います。今後の彼らの活躍に期待したいと思います。

さて、開催内容としましては、今回も公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の共同開催という形をとり、例年と同じ「エチケット・マナー講座」、「医療安全講座及び社会人基礎力」、「感染対策講座」、「医療コミュニケーション講座」、「被ばく低減講座」の5つの講座と、「診療放射線技師会活動等の紹介と入会案内」を加えた内容で開催しました。

実際に行なっているコロナ感染対策の内容も含めた「感染対策講座」、最近医療の現場で重要視されている「医療コミュニケーション講座」、社会人として世間から求められている「社会人基礎力講座」、近頃は国民にも注目されている「被ばく低減講座」は、新人のみならず、我々中堅、ベテランの技師にとりましても参考になったのではないかと思います。

参加人数は、フレッシュャーズ8名、引率者3名、Web参加者1名の計12名でした。

参加された方には、あらためて参加のお礼とフレッシュャーズの方には、我々の仲間として、唯一の職能団体である当診療放射線技師会への入会を心よりお待ちしております。

来年度もフレッシュャーズセミナーは開催したいと思います。

また、鹿児島県の特徴から対面、Web 併用型のハイブリッド形式を今後も継続させていきたいと思えます。是非、新人のみなさまのご参加と技師長さん、先輩方の新人参加へのご配慮、及び会員のみなさまのご参加をよろしくお願い致します。





# 鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催報告

(第 78 回鹿児島消化器画像研究会 第 28 回鹿児島超音波研究会)

報告者①：公益社団法人鹿児島共済会南風病院 日高 稔

報告者②：霧島市立医師会医療センター 塩屋 晋吾

令和 7 年 7 月 18 日 (水)、18:30~20:00、WEB 開催にて鹿児島消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会を合同開催し、55 名の参加がありました。

## ●第 1 部● 消化管 X 線プログラム

消化管 X 線のプログラムは①ミニレクチャー②胃 X 線症例報告、大腸 CT 症例報告 の 2 部構成で企画しました。まず、南風病院の山下友也さんから、胃 X 線における進行胃がんの X 線所見について発表をしていただきました。過去の症例から、拾い上げに必要な所見を X 線画像と内視鏡画像を対比していただき、進行胃がんの形態と X 線画像を初学者にも分かりやすく説明していただきました。

次に、胃 X 線症例報告として、ヘルスサポート鹿児島の藤田泰弘さんに検診における胃 X 線の異所性脾の症例を提示していただきました。比較的稀な良性疾患ではありますが、追加撮影することで検診においても、病変部を指摘されておりました。透視観察と適切な追加撮影が重要になりますので、検査する技師にとって、症例を知るよい経験と情報共有ができたと思います。

次に、南風病院の淵脇崇史さんに、職員検診における大腸 CT について発表していただきました。実際に拾い上げられた症例を大腸 CT の動画と内視鏡画像を元に、詳細に解説していただきました。大腸 CT の有用だった隆起性病変や、指摘が困難であった疾患などを提示していただき、実際に大腸 CT を検査する技師および 1 次チェックする技師にとって勉強となった症例でした

今後も初学者や未経験・ベテランの方にも興味を持ってもらえるような内容を目指していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

## ●第 2 部● 超音波プログラム

今回の超音波部門は、①ミニレクチャー、②症例報告の 2 部構成で企画しました。

前半は、霧島市立医師会医療センターの池田隆太さんによるミニレクチャー『わたしの調べたこと聞いてください』として、「腹膜垂」をテーマにご講演いただきました。腹膜垂に関連する病態である腹膜垂炎、腹腔内遊離体 (いわゆる“腹腔ネズミ”)、肝偽脂肪腫の 3 つについて、画像所見を中心に丁寧に解説されました。CT や超音波で特徴的な所見を捉え、これらの疾患を常に鑑別に挙げる意識の重要性を再認識できる内容でした。

後半の『症例から学ぶ』では、鹿児島厚生連病院の楠元亮太さんと、いづろ今村病院の上釜健作さんにご発表いただきました。

Case 1 では、鹿児島厚生連病院で経験された肝内胆管癌の超音波所見についての検討が紹介されました。肝内胆管癌に特有な超音波所見の捉え方に改めて注目する内容であり、ソナゾイド造影超音波の有用性についての活発な議論も交わされ、非常に学びの多い時間となりました。

Case 2 では、脂肪性肝疾患に対する新たな疾患概念である「SLD」や「MASLD」の紹介とともに、従来の NAFLD では対応困難であった症例への理解が深まりました。脂肪肝の評価においては、Bモードによる半定量的評価に加え、各種減衰法による定量的評価、さらには線維化の評価の重要性が強調され、超音波が早期診断や経過観察において大きな役割を果たすことが再確認できました。

どの発表も、日々の診療や検査に直結するヒントが多く含まれており、参加者の“超音波の引き出し”が一つ広がるきっかけになったと感じます。今後も、マルチモダリティが進展する中で、超音波の有用性を広くアピールできるような会を企画し、未経験の方にもその魅力がしっかりと伝わるよう、運営に努めたいと思います。

また、鹿児島県技師会 HP にて研究会の案内を掲載しますので、よろしく申し上げます。

# 令和7年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 開催報告

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 武宮 太

令和7年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会をハイブリッド配信(現地+Web)にて、2025年8月3日(土)14:30~17:00で開催いたしました。(会場:医療法人結縁会ひらやま脳神経外科3階)  
今回は特別講演として、熊本大学病院の池田龍二先生をお招きしました。

研修会プログラムは以下の通りです。

- 14:30~14:35 開会挨拶 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長 大迫 俊一  
14:35~14:40 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 活動報告 部会長 武宮 太  
司会 鹿児島大学病院 谷口 裕樹  
14:40~15:10 放射線科におけるAIの活用について  
キャノンメディカルシステムズ株式会社 綱代 啓志氏  
15:10~15:40 一般撮影マネジメントシステムについて  
コニカミノルタジャパン 田中 泰雅氏  
16:00~17:00  
座長 昭南病院 相川 晃太  
【特別講演】 新たな医療画像情報精度管理の局面 ~タスクシェア×医療DX/WXによる現場最適化~  
熊本大学病院 池田 龍二 先生

参加者は50名(JART会員33名、放射線技師以外の医療職5名、メーカー8名、一般4名)となり、そのうち10名ほどが現地参加でした。懇親会も開催され盛り上がりました。

## 【質疑応答】

### ●コニカミノルタジャパンの一般撮影マネジメントシステム RADInsight について

Q.この支援ツールは、デンタルやマンモグラフィーでも可能か?

A.デンタル、マンモは対象外です。今のところ、一般撮影のみの対応となります。

弊社のパネルが入っている施設であれば細かいログが取れるので、細かく業務管理が出来ます。

Q.画像のズレに関して、膝側面撮影で内顆と外顆がズレた時にどちら側に5mmずらすなど教えてもらえるのか?

A.内顆外顆の評価までは難しいです。

### ●特別講演について

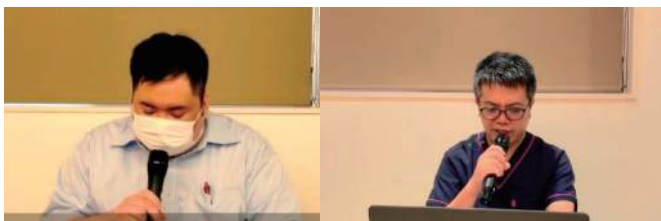
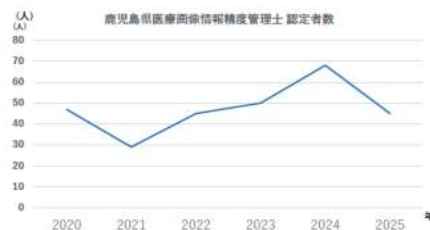
Q.これからは専門モダリティーだけでなく、多岐にわたり人材育成をしなければならぬが、モダリティー5つくらいこなしながら静脈確保まではなかなか大変になってくる。どのように人材育成をすればよいのか?

A. それぞれの年代・立ち位置で異なってくる。自分が当時上司から言われたことは、2つ上の立場の人がどう動いて欲しいか考えて行動するよう言われた。これからは、未来を見据える人、多様性を感じ取れる人を育てていかなければならぬが、実際やってみないと分からない。アンケートを取ることで人を動かすというやり方もある(ピグマリオン効果)。意識を向けるためのアンケート。静脈確保できるようになったのには3年くらいかかった。マイルストーンを置いてしっかり目標を掲げることが大切。



# 1. 医療画像情報精度管理士(鹿児島県認定者数)

2020年度47名、2021年度29名、2022年度45名、  
2023年度50名、2024年度68名、2025年度45名。



司会 谷口 裕樹

座長 相川 晃太

## アジェンダ

- ・はじめに
- ・キャノンAIブランド 「Altivity」
- ・AI読影支援ソリューション 「Abierto Reading Support Solution」



キャノン 網代氏

## 生成AIの課題

- LLM (Large Language Models : 大規模言語モデル) の学習済情報は、
- 「広く浅い」
- ・トレーニングデータに含まれていない情報は正しく答えられない
  - ・新しいデータはこたえられない
  - ・データの信憑性と責任の所在  
ハルシネーション (人工知能幻覚)  
事実とことなる情報をあたかも事実のように答えてしまう
  - ・インターネットによる情報セキュリティリスク

### メリット② 再撮影管理が容易

再撮影状況をデータ+画像で把握。課題を明確化し、教育やカンファレンスにご活用いただけます。

**再撮影率分析**

放射線科全体、もしくは個人ごとの再撮影状況を分析。  
※撮影回数には必ずしも記載はされません。

**再撮影画像一括閲覧**

複数の撮影室で発生した再撮影を一括管理。指摘すべき再撮影を見逃さないようOK画像はもちろん人NG画像の確認も可能。

**画像の詳細確認**

気になる画像の詳細を確認可能。  
※拡大や同一検査内の他方向画像とともに確認が可能。

### 静止面から動画へ

一般単純X線撮影装置、ポータブル装置を用いて **動画像** を取得

- ✓ 単純撮影室で撮影が可能
- ✓ 撮影時間は短時間
- ✓ 造影剤も不要
- ✓ 立位及び任意の体位での動画撮影が可能
- ✓ 上視野から下視野までのデータ収集が同時同時で可能
- ✓ ICUや複雑なベッドサイド (臥位や座位) で動画撮影が可能 (動画回診準備)



コニカ 田中氏

**Volatility 変動性**  
新技術への適応、医療体制の急速な変化、収益構造の理解

**Uncertainty 不確実性**  
医療現場での役割や業務がどのように再編されるか

**Complexity 複雑性**  
技術の高度化、多職種や学際領域の連携強化、医療安全の強化

**Ambiguity 曖昧性**

### 新たな医療画像情報精度管理の局面

視点	新たな管理の方向性
役割	個人的から <b>チーム×テクノロジー</b> へ
手段	紙と記憶から <b>自動化×データ活用</b> へ
人材	点検者から <b>価値創出者</b> へ
連携	単独部門から <b>院内横断</b> へ
位置づけ	管理業務から <b>経営資源</b> へ

熊本大学 池田龍二 先生

【次回案内】第24回鹿児島県医療情報システム研究会&鹿児島県医療画像情報精度管理士部会合同開催  
2026年7月18日(土)を予定。

# 令和7年度 第2回 告示研修 開催報告

学術担当 藤崎 誠

令和7年度 第2回告示研修が8月17日（日）に鹿児島医療技術専門学校 平川校 1号館5階多目的ホールおよび1号館4階 臨床実習室で開催された。

参加者は33名であった。（会員19名、非会員14名）

講師2名 脇田慎一（いづろ今村病院 診療放射線技師）、前田みさき（いづろ今村病院 看護師）

ファシリテータ5名（木場 淳、池田 真一、東 幸浩、元日田 調、伊藤 大助）

スタッフ2名で行なった。

午前中はDVD視聴で法令改正について、法令改正に伴う業務拡大の各論等について学んだ。

午後より静脈穿刺実技、CTおよびMRI、超音波その他の造影検査手技実技、核医学検査手技実技、動脈路に造影剤注入装置を接続する行為と血管造影時の清潔操作一連の実技、下部消化管検査で注入した造影剤及び空気を吸引する行為の実技、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為および鼻腔カテーテルを抜去する行為の実技の6ブロックを6つの班に分かれ、それぞれを約1時間にわたり実技研修を行なった。

早朝からのDVD視聴であったが参加者は真剣に視聴しメモをとる姿も見られた。

午後からの実技研修において参加者は皆、真剣に実習を受けており質問等をする様子も多く見られた。朝から終日の長時間にわたる研修会であったにも関わらず集中力も途切れることなく受講されていた。

今後は各施設にて実際にこれらの業務を行なっていくものと期待される。

令和7年度は残り1回 2025年12月7日（日）の開催を予定している。

未受講の会員についても診療放射線技師業務の将来を考える上で是非とも受講していただきたいと考える。



DVD 視聴風景



静脈路確保実技風景



RI 投与実技風景



上部消化管実技風景



下部消化管実技風景



血管造影検査実技風景

# 告示研修会（実技研修）開催（鹿児島）のお知らせ

秋色の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会活動へのご理解とご支援頂き誠に有難うございます。

さて、公益社団法人日本診療放射線技師会では、診療放射線技師法の改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大され、新たな業務実施にあたり安全かつ正確に実施するために、厚生労働大臣が指定する告示研修会(実技研修)を開催致します。つきましては、その委託を受けまして本会では、下記日程要項で、令和7年度 第3回告示研修会(実技研修)を開催することとなりましたのでお知らせ致します。

尚、本会では今回の告示研修会をもちまして、このシステムでの開催は終了となりますので、まだ受講されていない方がいましたら、ご周知くださいますようお願い申し上げます。（注：申込者が16名に満たない場合は開催中止となります。）

## 記

開催目的：業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得する

日時：令和7年12月7日（日）8：50～18：00

会場：鹿児島医療技術専門学校（平川キャンパス）多目的ホール（1号館5階）  
鹿児島市平川町字宇都口5417-1

受講資格：e-ラーニングによる告示研修（基礎研修）修了（合格）者

受講料：会員10,000円 非会員20,000円

受講者数：48名（注意：定員になり次第締切ます）

内容：DVDによる講義（視聴）及び医師、看護師による実習・演習

日程：

	時刻	時間(分)	事項
1	8:30 ～ 8:50	20	受付
2	8:50 ～ 9:00	10	開講式・オリエンテーション
3	9:00 ～ 10:15	75	動画視聴
4	10:15 ～ 10:25	10	休憩
5	10:25 ～ 12:30	125	動画視聴
6	12:30 ～ 13:20	50	休憩
7	13:20 ～ 17:50	4：30	実技研修
8	17:50 ～ 18:00	10	閉講式・解散

申込開始：10月23日（木） 申込締切：11月23日（日）

申込方法：日本診療放射線技師会ホームページ（JART情報システム）より  
お申込み下さい。

その他：会場の周辺にコンビニ等ありませんので、昼食は各自準備して来て下さい。入室は、スリッパを用意していますが、長時間の研修のため各自上履きの準備をお勧めします。申込時に満席でも、申込途中にキャンセルとなった枠をその都度、手動で空けていますので、受付可能となる場合があります。申込締切日までにこまめにホームページの確認をお願いします。

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
問合せ：川内市医師会立市民病院 放射線課 0996（23）4418 藤崎まで

# 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和7年度第2回常務理事会議事録(抄)

日時:令和7年7月31日(木)

場所:Web開催のみ

出席理事:

大迫 俊一・渡邊 義治・恵 智徳・市来 守・  
木原 悠太・藤崎 誠・東 幸浩・米重 亮馬・  
木場 淳

欠席理事:なし

議長:大迫 俊一

開会:議長により令和7年度第3回理事会の開催が宣言された。

## 第1号議案

各常務理事より次回理事会議案について協議事項がないか確認を行った。

### 1, 会長

#### (1)レントゲン週間イベント補助金について

レントゲン週間の補助金に関して、各地域(九州地域)に10万円以内の予算が組まれており、それを8県で分配することとなっている。九州地域理事から、『開催されない県や補助金を辞退する県に関しては分配の対象としない』との連絡があり、8月15日までに申請の意向を連絡することになっているとの説明があった。

直近では2020年に予算申請し、骨密度装置の借用代金(約7万円)として利用した。今回、骨密度装置(2台)を健康祭りで使用するため、見積額13万円の一部を補助するために申請する。質疑として渡邊理事から、「イベントのレントゲン週間と健康祭りについて共催として行うか」について提案があった。その他、常務理事から質疑はなく、本件については理事会の承認を得る方針となった。

#### (2)夜間急病センター

夜間急病センターの新規勤務者5名について、研修が終了したとの報告があった。勤務に必要な施設長の許可、技師会賠償責任保険(上乘せ補償)については、脇田理事が確認しており、問題がなければ、次の勤務サイクルから勤務を開始する予定との説明があった。

その他、常務理事から質疑はなく、本件については理事会にて報告する方針となった。

#### (3)研究会・理事会等におけるweb配信業務に関して

現状の研究会・総会・理事会等におけるWeb配信業務に関して、遠方や当日都合で現地参加が困難な会員または理事に対してWebexを用いて配信を行っている。これまでは、web配信の機材等の運営を一人で行っているが、今後も配信を安

定して継続できる体制を構築するための案として、以下の4項目に関する提示があった。

#### ①Web担当者について

Web担当者については、学術(案)の下に配信担当委員会を設置し、主に市内の理事・研究会等の世話人から選出することが提示された。配線等の機器の扱いについては、数をこなさないとトラブルに対応ができないので、大迫会長に加えて2名程度を人選し業務を遂行する具体的人員についても提示された。また、配信担当委員会を設けて定期的に情報共有を行い継続できる体制を構築する構想についての説明があった。

#### ②委託費について

委託費については、WEB開催時は通信費として1000円支給するものとし、Hybrid開催時については、交通費(市内1000円、市外4000円)に加えて委託費3000円を支給する案が提示された。

#### ③配信担当者の委嘱業務

配信担当者の委嘱業務として、開催前の院内PCや配線等の準備(可能であれば前日の設置又は事前テストを含む)、配信業務(Webexのログイン等は権限を付与)、開催後の機材を確認し返却するなど具体案が提示された。

#### ④対象研究会など

対象の研究会については、各研究会・理事会・総会などを対象とし、2024年の実績として、研究会21回(1回3時間程度)、理事会4回をWeb配信したとの報告があった。質疑として、藤崎誠理事より、配信委員の選出について質問があった。大迫会長から、2名の選出については研究会よりも理事を優先して2名選出する方針であるとの回答があった。渡邊副会長からは、理事の任期と交代を考慮した長期担当の必要性について進言があった。大迫会長から、市外ではあるが2名の候補者について具体的に提示された。まずは1名に対しマニュアルを用いて指導を行い年度内に実績を提示することを目標とした。木原理事から記載の交通費の支給は、理事を対象にした支給金額となっているため、研究会のスタッフを配信担当者とした際に、現状交通費は市内市外問わず1000円となることから、記載金額で支給を行う場合は、交通費の支給規定では改訂が必要な可能性があるとの報告があった。

上記内容について、その他の質疑はなく、本件については理事会にて承認を得る方針となった。理事会承認後は、規程の改訂を行う方針とした。

#### (4)地域委員会(全国地域連絡協議会)参加報告

地域委員会(全国地域連絡協議会)の報告について、参加資料を参照しながら説明が行われた。

主な内容については下記の6項目である。

### ①都道府県技師会長及び若手会員との懇談会企画

2025 年度は、10 地区技師会との懇談会を計画されており、鹿児島県も年度内に開催予定であるとの報告があった。

### ②学術大会の開催期間短縮(2 日間開催)について

各位地域で集約された内容について報告があり、提出された内容を元に今後理事会で検討をするとの報告があった。2027 度の福岡大会は 2 日間行う予定であるとの報告もあった。

### ③告示研修について

当初の目標を達成できそうな状況である。鹿児島県は、会員の受講割合が 66%(31 位)、診療放射線技師全数受講割合が 55%(39 位)であった。組織率については、目標値を JART が推奨する 70%(約 700 名)にすることを鹿児島県の目標とすると大迫会長から提示があった。

### ④ワクチン筋注行為・実技講習会

ワクチン筋注行為・実技講習会が開始されるとの報告があった。オンデマンド講習は、JART の e-ラーニングを使用し、8/1 より開講予定である。実技講習はオンデマンド講習をすべて修了した方が参加対象となり、以下の項目が主な内容である。

- 1) 筋注ファントムと消耗品をセットにしたコンテナを JART から無償貸与
- 2) R7、R8 年度中にファントム貸与を申し込みされた地区には講習会開催に関する諸経費助成として 10 万円を振り込む(助成金の振込は単回のみ)。
- 3) 実技講習会の開催は地区および地域技師会にて主体的に実施し、消耗品の補充は地区技師会にて負担する。ファントムの修理・補充については JART が負担する。
- 4) 実技講習会時のスタッフ・参加者には針刺し事故に備えた保険を付与する。
- 5) 発注・納品されたコンテナの保管・管理は地区技師会にて実施する(返却は不要)。
- 6) 地域学術大会、地区イベント等にて積極的な実技講習会の開催を依頼する。

渡邊副会長から、筋注行為の対象疾患について質問があったが、筋注行為は、コロナワクチンのみを対象としており、その他の筋注行為については対象でないとの回答があり、詳細についてはオンデマンド講習を受講するようにとのことであった。

### ⑤退会フローチャート

今年度、当県の会員退会処理について、退会希望会員の意向に沿わない処理がされた事案があった。また、退会処理が年度をまたぐなどの問題があったため、8 月上旬から JART のホームページ上で退会希望会員が退会処理を行えるようになるとの報告があったが、『退会申請 JARTIS 上にてクリック』が追加になるだけで、これまでの内容に変更はないとの事であった。質問として、これまでの方法と新たな方法の 2 種類あると、会員が混乱するのではないかと意見が上がったが、これ

までの運用をやめたい場合は、各県で判断をして決めてよいとの回答があった。

木場理事から、他会議の議事録を元に進言があり、当県における退会のフローチャートについて確認が行われた。渡邊副会長より、県技師会の定款(第 9 条)との相違も生じることになるため未納に関する記載について定款の一部修正もしくは細則への追記が必要になるのではと問題提起があった。今後の運用については、現状の運用を保持し、問題が生じた際に定款等の修正を行う方針とすることで承認いただいた。

### ⑥診療放射線技師の倫理啓発・コンプライアンス意識向上について

診療放射線技師の業務に関して医師の指示なしに検査を行うなどの診療放射線技師の業務範囲を超えた医療行為、情報管理上の不適切事例、その他の法令等に違反する行為等が散発的に発生している。職能団体として、前述した不適切事例の再発防止、および診療放射線技師の社会的信頼の維持・向上を図るため以下の取り組みを実施予定である。

- 1) コンプライアンス研修の実施
- 2) 学術大会・都道府県総会等での注意喚起
- 3) ホームページで本会の倫理啓発に関する取り組み公表
- 4) e-learning を活用する取り組み

コンプライアンス遵守に関しては、可能な限り定期的な受講を義務化することが望ましいと考えるとの報告があった。

### (5)第 2 回原子力災害医療 県別意見交換会参加報告

①日本専門医機構 救急科専門医更新基準における原子力災害医療研修の単位認定について鹿児島大学病院より、日本救急医学会の救急科専門医更新基準の認定する OFFJT(Off-the-Job Training)において、原子力災害医療分野の研修が、単位として認められる可能性があり、問い合わせたところ、主催者側からの申請により認定が可能ではないかとの事であった。他の高度被ばく医療支援センターとも連携し、対象となる研修についての検討を進める予定である。

### ②原子力防災訓練の実実施計画について

今年度も 2 月に原子力防災訓練を実施予定であり、日程が提示され次第速やかに報告するとのことであった。

## 2. 副会長

特になし

## 3. 総務理事

特になし

## 4. 財務理事

### (1) R7 年度予算進捗状況報告

6 月 30 日現在の令和 7 年度対予算進捗表について説明があった。通信運搬費について法人会経費が 93.6%となった件については、会報と総会のはがきを同封した影響であることや、租税公課(印鑑証明)・福利厚生費(結婚祝金)の増加理

由について個別に説明があった。

## (2) 鹿児島県公衆衛生協会への加入

今年度 3000 円分の入金を行い、加入したとの報告があった。

## 5, 学術理事

### (1) 今年度各地域研修会理事派遣について

今年度各地域研修会理事派遣する理事について相談があった。派遣については、南薩 2 回、大隅 1 回(挨拶含む)、霧島・始良 1 回、北薩 1 回、大島 1 回、さくら RT 1 回の予定である。藤崎誠理事が担当を検討し、理事会で報告することとなった。

### (2) 研究会、部会、地域研修会の意見交換会について

研究会、部会、地域研修会の意見交換会について 7/29 に Web 会議が行われ、年に 1 回の世話人会と研究会実施について依頼を行った。また、世話人会においても参加者には交通費(通信費)を支払えるように理事会に承認いただく方針とした。会議中の質問として、平原様よりアーカイブ配信において著作権に留意する必要がある旨の指摘があった。大迫会長がアーカイブ配信前にチェック・修正を行うとの回答をした。藤崎誠理事より、会員・会場によっては参加費について配慮する必要があるとの意見があった。

## 6, 福利厚生理事

特になし

## 7, 編集・広報

### (1) 会報の投稿要領について

会報投稿要領の修正について、今度の理事会にて承認いただく方針とした(別紙『新旧対照表』を参照)。

### (2) 次号会報誌第 143 号の発行スケジュールについて

9 月末発行とすると 5 週間前に原稿締め切りとなるので、次号会報第 143 号の発行スケジュールについて説明がある。

前回の会報誌作成時に投稿要領を守られていない投稿が多く、かなり訂正に時間を要したため、必ず投稿要領に則した原稿を作成するように依頼をお願いしたいとの依頼があった。重ねて、写真についても暗い写真だと印刷に影響するため、鮮度が高い写真を選択するように依頼があった。

大迫会長より、紙面電子化(PDF 化)のアンケートについては、次回の理事会で意見を聴取し、近日中にはがきを発送することを検討しているとの報告があった。

大迫会長から、新任理事と退任理事の挨拶文を募集するように依頼があった。

## 8, 表彰理事

### (1) 健康まつり担当者の選任

10/12 開催の健康祭りについて、中心となる人員と各役割担当(グッズの購入・広報など)を決めておく必要があるとの報告があった。中心の担当者を 2 名専任し、毎年 1 名ずつ交替していくことで引継ぎを簡素化する方針とした。今年度の 1 名は

脇田理事に依頼し、もう 1 名については募集する方針とする。次回の理事会で確認をすることとなった。

### (2) 健康まつり(10/12)スタッフ募集方法

スタッフの募集方法については、理事会後に LINE を用いて募集を行う方針となった。

### (3) 表彰(医療功労賞について)

医療功労賞について、太田原監事に打診をしているとの報告があった。

## 9, 組織

### (1) 会員動向について

前回理事会報告以降(2025/5/24~2025/7/28 現在)入会 11 名、再入会名、退会 3 名、転入名、転出 1 名、勤務先施設情報登録 2 件、勤務先施設情報変更 3 件、各処理を行った(資料参考)。2025/7/28 現在正会員数は 638 名との報告があった。

### (2) 退会取消に至った経緯報告

5/28 受付された退会届について「今年度をもって」と書いてあったが即退会処理をすすめてしまい、JART 事務局へ問い合わせがあったと連絡があった。大迫副会長と相談し「退会取消」を JART 事務局へ依頼し、6/6 に会員復帰となった。なお該当者の退会期日については来年 2 月上旬を予定しているとの報告であった。

渡邊副会長より、再発予防のために退会届に関するフォーマットを修正する必要があるのではとの提案があった。木場理事より、退会時期を指定・予約するような行為については JART として対応できないとの回答があったとの報告あり。偶発事例として、退会届は留意して確認するよう大迫会長から回答があった。

## 第 2 号議案 その他

### 1. 第 3 回 理事会について

8/9(土)開催するとの報告があった。

### 2. 急病センターのポイント制について

渡邊副会長より、急病センターのポイント制もしくは任期制度(任期制度にする場合はしっかりとした協議が必要)についても今後検討すべきとの提案があった。大迫会長より、急病センターに従事する者の撮影技術の研修については、X 線撮影研究会に協力を相談予定との回答があった。

## 閉会

議長より全ての議事が終了し、令和 7 年度 第 2 回 常務理事会の閉会が宣言された。

令和 7 年 7 月 31 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 大迫 俊一

理事 渡邊 義治・恵 智徳・木原 悠太

議事録作成者 理事 市来 守

# 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和7年度 第3回理事会 議事録(抄)

日時:令和7年8月9日(土)

場所:相良病院 (Web会議とのハイブリッド開催)

出席理事:

大迫 俊一・渡邊 義治・恵 智徳・木原 悠太・米重 亮馬・脇田 慎一・四本 斉・本村 克朗・戸川 憲二・竹尾 晃一・屋部 太輔・武宮 太・藤崎 拓郎

(Web会議システムを通じての出席)

市來 守・木場 淳・熊谷 繁夫・藤村 卓也・木佐貫 克朗・愛下 剛・藤崎 誠・東 幸浩

欠席理事:坂口 右己・元 俊晶・吉田 紫織

出席監事: 太田原 美郎

議長:大迫 俊一

開会:議長より理事の過半数以上が出席しており、令和7年度第3回理事会の開催が宣言された。

## 第1号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告(第16条7項)

会務について総務理事の代わりに会長から説明があった。

(別紙:会務報告参照)

### 1, 会長

#### ①市民健康まつりについて

本年度は、第42回市民健康まつりにあわせて、レントゲン週間イベントを共催する方向で進めているとの報告があった。イベント内容は例年と同様に、パネル展示・放射線相談・超音波骨密度測定を予定しているとのことであった。なお、JARTよりレントゲン週間イベント補助金に関する案内があり、超音波骨密度測定装置の使用費の一部補助を申請中である旨の報告があった。

＜担当者の選任について＞

これまで、同イベントの担当者は1名体制であったが、業務負担の軽減および円滑な引継ぎを目的とし、今後は2名体制とし、毎年1名ずつ交代する方式とする旨の提案がなされた。

＜スタッフ募集について＞

例年、当日スタッフとして約15名を、理事が所属する施設を中心に声かけして確保していたが、今後はLINEやホームページ等も活用し、広く会員に募集をかける旨の提案がなされた。

以上、市民健康まつりについて(レントゲン週間イベント共催・担当者の選任・スタッフ募集)について、出席理事全員より賛同が得られ、承認された。

#### ②夜間急病センター新規勤務者について

夜間急病センターの新規勤務者5名について、研修が終了したとの報告があった。勤務に必要な施設長の許可と技師会賠償責任保険(上乘せ補償)については脇田理事が確認しており、問題がなければ次の勤務サイクルから勤務を開始する予定との説明があった。

以上、夜間急病センター新規勤務者について、出席理事全員より賛同が得られ、承認された。

#### ③研究会・理事会等におけるWeb配信業務の体制について

今後、研究会や理事会等におけるWeb配信を安定的に継続できる体制を構築するため、以下3点について提案がなされた。

##### (1) Web担当者について

現在、配信機材の準備・運用は1名で行っているが、継続的かつ安定した配信体制とするため、以下の提案があった。

- ・学術の下部組織として「配信担当委員会」を設置する。
- ・機器の取扱いやトラブル対応には一定の経験が必要であるため、当初は3名体制(会長+2名)で業務を開始する。
- ・配信担当委員会においては、定期的な情報共有を行い、業務継続可能な体制を構築する。

##### (2) 委託費について

Web配信に関する委託費について、以下の支給案が示された。

- ・Web開催時:通信費として1,000円を支給
- ・Hybrid開催時:交通費(市内1,000円、市外4,000円)+委託費3,000円を支給

また、これに伴い「役員等の報酬及び費用の支給に関する規程」の改訂案が説明された(別紙2:新旧対照表参照)。

##### (3) 配信担当者の委嘱業務

Web配信業務の具体的な委託内容として、以下の案が提示された。

- ・開催前の院内PC・配線等の準備
- ・当日の配信業務(Webexのログイン等は権限を付与)
- ・開催後の機材点検・返却等の後処理業務

以上、研究会・理事会等におけるWeb配信業務に関する提案について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

#### ④ワクチン筋注行為に関する実技講習会について

ワクチン筋注行為に関する実技講習会が開始されており、オンデマンド講習がJARTIS上で現在公開中である旨の説明がなされた。また、筋注ファントムについては既に申込み済みであるとの報告があった。今後の対応として、春季学術大会および秋季学術大会、各地域研修会等での実技講習会の開催を検討していくことが確認された。

以上、ワクチン筋注行為・実技講習会について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

## ⑤役員選挙規程改訂について

役員改選に伴い法務局へ申請を行った際、役員選挙規程の一部に不備があるとの指摘があり、これを受けて規程の改訂を実施することとなった。(別紙2:新旧対照表 参照)。

以上、役員選挙規程改訂について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

## ⑥2026年度広告依頼(趣意書)について

2025年度は、昨年同様に14社からの協賛を得ることができたとの報告があった。

一方で、昨今の経済状況等の影響により、2026年度以降は一部企業から協賛継続が難しくなる可能性があるとの意見も出された。これを踏まえ、協賛を得やすくするために趣意書の内容を見直すべきとの提案がなされた。提案の具体的内容は以下のとおりである。

- ・メーカー主催の研究会について、県技師会のホームページおよびLINEを活用した広報を可能とする。

- ・共催形式での研究会開催を提案し、技師会と企業の連携強化を図る。

これらの提案をもとに、次年度の趣意書の内容を再構成する方向で検討を進めることとなった。

以上、2026年度広告依頼(趣意書)について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

### 【報告事項】

#### ・地区技師会入会促進案内ページ実態調査について(JART理事会資料より)

JART理事会報告より、新規入会者数が例年より減少している現状を踏まえ、入会促進に向けた広報の強化が求められている旨の報告があった。また、各県技師会のホームページにおける入会案内ページの実態調査に関する資料をもとに、当会においては「会費案内はあるが、新卒初年度会費無料についての記載がない」との指摘があった。このため、今後ホームページの内容を見直し、必要な改訂を行う方針が説明された。併せて、全国の会員動向を踏まえ、今後は組織率70%の達成を目標として取り組んでいく方針が示された。

### 【その他】

#### ・県技師会長および若手会員との懇談会企画について

2025年度は全国10地区の技師会との懇談会が計画されており、鹿児島県でも年度内に開催予定である旨の報告があった。

#### ・退会フローチャートについて

2025年8月上旬より、JARTのホームページ上で退会希望会員がJARTIS上から退会申請を行えるようになる。具体的には「退会申請をJARTIS上でクリックする操作」が追加されるのみで、その他の手続きに変更はない旨の説明がなされた。

#### ・診療放射線技師の倫理啓発・コンプライアンス意識向上に

## ついて

診療放射線技師による医師の指示なしの検査実施、情報管理上の不適切事例、その他の法令違反行為が散発的に報告されており、職能団体としての信頼維持と再発防止を目的とした啓発活動を行っていく旨の方針が説明された。

#### ・第2回原子力災害医療県別意見交換会参加報告について

本年度も例年どおり、2026年2月に原子力防災訓練を実施予定であり、日程が確定次第、速やかに会員へ報告する旨の説明がなされた。

#### ・FRT九州(佐賀)研修会への参加報告について

2025年7月5日、国立病院機構佐賀病院にて第10回FRT九州研修会が開催され、参加報告があった。

表記の研修会では、九州各施設を対象としたアンケート結果をもとに、接遇およびメンタルヘルスに関する講演・シンポジウムが行われ、活発な意見交換があった。また、アンケート結果は九州地域技師会のホームページへの掲載もしくは地域会内での検討が進められているとの報告があった。

FRT九州副代表である、いまきいれ総合病院 丸尾氏より、令和6年度より各県2名分の旅費が九州地域診療放射線技師会より支給されている旨の報告があり、来年度は鹿児島大学病院の元日田氏に参加を依頼していることが併せて報告された。

## 2, 副会長(恵)

特になし

## 3, 総務

### 【報告事項】

#### ・公文書発行一覧について

公文書発行一覧について、別紙資料を元に総務理事から説明があった。別紙3:公文書発行記録参照

## 4, 財務

### 【報告事項】

#### ・令和7年度 予算進捗状況報告について

令和7年6月30日現在の予算進捗表について説明がなされた。通信運搬費において法人会経費が93.6%に達している理由については、会報と総会案内はがきを同封して発送したことによるものであるとの説明があった。また、租税公課(印鑑証明取得費)および福利厚生費(結婚祝金)の増加についても、個別に説明が行われた。

#### ・鹿児島県公衆衛生協会への加入について

今年度も例年通り、3,000円の会費を納入し、加入したとの報告があった。

## 5, 学術

### 【報告事項】

#### ・今年度各地域研修会理事派遣について

昨年度より、各地域で開催される研修会には、会長に加え理

事 1 名以上を派遣する体制を取っており、今年度も引き続き同様の方針で対応する旨の説明がなされた。あわせて、令和 7 年度に予定されている各地域研修会への理事派遣計画について、報告があった。

以上、今年度各地域研修会理事派遣について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

#### ・研究会・部会・地域研修会に関する意見交換会の実施について

7 月 29 日に、研究会・部会・地域研修会の世話人を対象とした意見交換会(Web 会議)が開催され、年 1 回の世話人会および研究会の実施について、各担当者へ依頼を行ったとの報告があった。

なお、役員等の報酬及び費用の支給に関する規程 第 8 条「交通費の支給」に記載されている『この法人が認めた者』に、研究会世話人が該当するかどうかの確認が行われた。

以上、研究会、部会、地域研修会の意見交換会について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

#### 【研究会等開催報告】

令和 7 年度 第 1 回告示研修

日時:令和 7 年 5 月 25 日(日)8:30~17:30

開催場所:鹿児島医療技術専門学校

参加者:32 名(会員 25 名、非会員 7 名)

参加者過去最低。これ以上減った場合は、ファシリテータ減で開催することになる。

令和 7 年度 特別講演、春季学術大会

日時:令和 7 年 6 月 8 日(日)13:30~16:00

配信元:鹿児島市立病院／ハイブリッド開催

参加者:75 名(会場参加会員 38 名、Web 参加会員 35 名、他職種 2 名)

内容:シンポジウム(診療放射線技師の静脈注射について)、会員発表:3 演題

令和 7 年度 フレッシュアップセミナー

日時:令和 7 年 6 月 22 日(日)9:00~13:30

配信元:南風病院／ハイブリッド開催

参加者:12 名(会員 4 名、非会員 8 名)

内容:JART 指定講義 6 題

第 78 回 鹿児島消化器画像研究会・

第 28 回 鹿児島超音波研究会 合同開催

日時:令和 7 年 7 月 16 日(水) 18:30~20:00

配信元:南風病院／Web のみ

参加者:56 名(会員 56 名、非会員 0 名)

内容:ミニレクチャー:2 演題、症例報告 2 演題

令和 7 年度 鹿児島県医療画像情報管理士部会

日時:令和 7 年 8 月 2 日(土) 14:30~17:00

配信元:ひらやま脳神経外科／ハイブリッド

参加者:48 名(会員 31 名、一般 9 名、メーカー 8 名)(WEB 参加 38 名)

内容:メーカー講演 2 演題、

特別講演:熊本大学病院 池田 龍二 先生

#### ・各研究会から出たご意見

特になし

#### 6, 福利厚生

特になし

#### 7, 編集・広報

#### 【報告事項】

##### ・会報の投稿要領改訂について

会報投稿要領の改訂案が説明された(別紙2:新旧対照表参照)。

以上、研究会、部会、地域研修会の意見交換会について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

##### ・次号会報誌第 143 号の発行スケジュールについて

次号会報誌(第 143 号)について、2025 年 9 月末発行を予定しており、スケジュールについて説明がなされた。

なお、前回の会報作成時に、投稿要領に沿っていない原稿が多く、修正対応に大幅な時間を要したことから、今回より投稿者には必ず投稿要領に則った原稿作成を依頼するよう、関係者への周知徹底をお願いしたい旨の依頼があった。

以上、次号会報誌第 143 号の発行スケジュールについて、出席理事全員の賛同を得て承認された。

##### ・会報の電子化(PDF)のアンケートと今後について

大迫会長より、会報の電子化(PDF)に関する説明がなされた。これまで、会報発行にかかるコスト削減のため、ページ数の制限や会報とニュースの発行に関する見直しなどの工夫を行ってきたが、昨今の印刷費・郵送費の値上げの影響により、1 回あたりの会報発行費用は印刷・封入・発送を含めて約 40 万円に達しているとの報告があった。

今後、会報の内容充実と物価上昇への対応を見据え、会報の電子化(PDF 配信)を検討していく必要があるとの考えが示された。ただし、一部会員においては紙媒体での継続を希望する可能性があることから、希望者には従来通り紙面の発送を継続する方針とする。ついては、今後の対応を検討するため、「紙媒体での継続希望の有無」、「電子化に向けた懸念事項や課題」に関するアンケートを実施する方針が示された。

以上、会報の電子化(PDF)のアンケートと今後について、出席理事全員の賛同を得て承認された。

#### 8, 表彰

#### 【報告事項】

- ・医療功労賞の候補者推薦について 9, 組織  
医療功労賞について、太田原監事に打診をしているとの報告がある。 特になし

- ・30年表彰・50年表彰の候補者推薦について  
対象者に連絡を取り準備を進めているとの報告がある。

### 議題 2 会員動向報告(第6条):組織

前回理事会報告以降(2025/5/24~2025/7/28 現在)入会 11名、再入会 0名、退会 3名、転入 0名、転出 1名、勤務先施設情報登録 2件、勤務先施設情報変更 3件、各処理を行った(資料参考)。2025/7/28 現在正会員数は 638名。

- ・会員動向(2025年7月末時点) ※入会申請中 3件(取下げ 3件含む)退会申請中 0件

年 月	月末会員数	入 会	転 入	転 出	退 会
2024 年度集計	631	48	6	7	30(除籍 6)
2025 年 4 月	627	2	3	3	6(除籍 5)
2025 年 5 月	631	5	1	0	2
2025 年 6 月	635	5	0	1	0
2025 年 7 月	638	5	0		2
2025 年度集計	638	17	4	4	10

### 議題 3 その他

特になし

### 閉会

議長より全ての議事が終了し、令和7年度第4回理事会の閉会が宣言された。

令和7年 8月 12日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 大迫 俊一

監 事 太田原 美郎

理 事 米重 亮馬・脇田 慎一

議事録作成者

理 事 市來 守

## 令和 7 年度 会務報告

別紙 1 :

開催日	内容	開催場所	出席者
2025/6/4	財務引継ぎ会議	清泉クリニック整形外科内科	渡邊理事・木原理事
2025/6/5	三役会議	坂元事務所/Web	太田原会長・藤崎副会長・大迫副会長・渡邊理事・野中理事
2025/6/8	第 104 回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 定時総会	鹿児島市立病院	理事 24 名・監事 1 名
2025/6/8	令和 7 年度第 2 回 理事会	鹿児島市立病院	理事 22 名
2025/6/16	総務引継ぎ会議（法務局申請）	Web 会議	大迫会長, 恵副会長, 市來理事
2025/6/17	表彰理事引継ぎ会議	市内	渡邊理事・野中理事
2025/6/19	九州放射線医療技術学術大会 第 3 回実行委員会	鹿児島医療センター	
2025/6/19	健康まつり実行委員会	市医師会本部	渡邊理事
2025/6/22	令和 7 年度 フレッシュアップセミナー	南風病院	大迫会長、恵副会長、太田原理事、東理事、市來理事、藤崎理事
2025/6/23	財務引継ぎ会議	清泉クリニック整形外科内科	渡邊理事・木原理事
2025/7/9	第 10 回 FRT 九州研修会	国立病院機構 佐賀病院	大迫会長
2025/7/9	財務引継ぎ会議	清泉クリニック整形外科内科	渡邊副会長・木原理事・屋部理事
2025/7/10	令和 7 年度第 2 回 南薩地域世話人会	Web 会議	木佐貴理事・世話人
2025/7/24	健康まつり実行委員会	市医師会本部	脇田理事
2025/7/24	令和 7 年度県別意見交換会および地域原子力災害医療連携推進協議会	Web 会議	大迫会長
2025/7/29	地域・部会・研究会を対象とした研究会開催についての意見交換会	坂元事務所/Web	大迫会長, 藤崎拓郎理事・藤崎誠理事、WEB 参加者 19 名
2025/7/31	令和 7 年度第 2 回 常務理事会	Web 会議	会長・副会長・常務理事
2025/8/7	九州放射線医療技術学術大会 第 4 回実行委員会	鹿児島大学病院	
2025/8/9	令和 7 年度第 2 回 理事会	相良病院	理事 24 名・監事 1 名

## 令和 7 年度 公文書発行記録一覧

別紙 3 :

記録者：大迫（相良病院）

番号	発行日時	文書	宛先	備考
25019	2025/6/7	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会理事の委嘱について	令和7・8年度 理事	
25020	2025/6/7	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会代表理事の委嘱について	令和7・8年度 代表理事	
25021	2025/6/7	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会監事の委嘱について	令和7・8・9・10年度 監事	
25022	2025/6/17	ご講演のお礼	いづろ今村病院 看護部 看護部長 上原 奈津美 様	春季学術大会
25023	2025/6/17	ご講演のお礼	いづろ今村病院 看護部 教育担当部長 平石 敬美 様	春季学術大会
25024	2025/6/17	ご講演のお礼	古賀総合病院 放射線技術部 技師長 篠原 暢孝 様	春季学術大会
25025	2025/6/17	ご講演のお礼	いづろ今村病院 画像診断科 技師長 脇田 慎一 様	春季学術大会
25026	2025/7/7	鹿児島県診療放射線技師会 医療画像情報精度管理士部会研修会での講師派遣のご依頼について(お願い)	熊本大学病院 病院長 平井 俊範 様	医療画像情報精度管理士部会研修会
25027	2025/7/7	鹿児島県診療放射線技師会 医療画像情報精度管理士部会研修会での講演のご依頼について(お願い)	熊本大学病院医療技術部 診療放射線技術部門 池田 龍二 先生	医療画像情報精度管理士部会研修会
25028	2025/7/9	会場借用のお願いについて	学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 校長 宮里 浩二 殿	令和7年度 第2回告示研修会
25029	2025/7/11	2025年度広告掲載料請求書	東洋メディック 株式会社 様	

2025 年 8 月 6 日時点

役員等の報酬及び費用の支給に関する規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(事業協力者の報酬)</p> <p>第 4 条 この法人の主催および共催する講習会や研究会等、または環境測定事業・配信業務などにおいて、講師などの業務を委嘱された者に対して謝金を支給することができる。</p> <p>2 公益社団法人日本診療放射線技師会が主催する講習会において、この法人から追加派遣された者に対して、謝金を支給することができる。ただし謝金額においては、主催団体が決めた金額と同額とする。</p> <p><u>3 この法人の主催および共催する講習会や研究会等や総会、理事会などで Hybrid 開催に関する業務を委託された配信担当委員に対して、委託費 3000 円を支給することができる。</u></p> <p><u>4</u> 別表 1 に基づき講師謝金を支給することができる。講師種別は以下のとおりとする</p>	<p>(事業協力者の報酬)</p> <p>第 4 条 この法人の主催および共催する講習会や講演会、または環境測定事業などにおいて、講師を委嘱された者に対して謝金を支給することができる。</p> <p>2 公益社団法人日本診療放射線技師会が主催する講習会において、この法人から追加派遣された者に対して、謝金を支給することができる。ただし謝金額においては、主催団体が決めた金額と同額とする。</p> <p><u>3</u> 別表 1 に基づき講師謝金を支給することができる。講師種別は以下のとおりとする</p>	<p>修正・追記</p> <p>追記</p> <p>条番号の整理</p>
<p>(宿泊費の支給)</p> <p>第 7 条 会長が認めた出張、またはこの法人の運営に必要な旅行においては、領収書をもって宿泊費を支給するものとする。ただし宿泊費は、上限 10,000 円/泊を基本支給とする。</p> <p>2 旅程に限らず、<u>2,000 円/日</u>の諸経費を支給する。</p>	<p>(宿泊費の支給)</p> <p>第 7 条 会長が認めた出張、またはこの法人の運営に必要な旅行においては、領収書をもって宿泊費を支給するものとする。ただし宿泊費は、上限 10,000 円/泊を基本支給とする。</p> <p>2 旅程に限らず、<u>2,000 /日</u>の諸経費を支給する。</p>	<p>誤記の修正</p>
<p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和 5 年 3 月 21 日から施行する。</p> <p>3 この規程は、令和 7 年 3 月 2 日から施行する。</p> <p><u>4 この規程は、令和 7 年 8 月 09 日から施行する。</u></p>	<p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和 5 年 3 月 21 日から施行する。</p> <p>3 この規程は、令和 7 年 3 月 2 日から施行する。</p>	<p>追記</p>

役員選挙規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>(総則)</p> <p>第 1 条 役員選挙は、<u>定款第 18 条に基づき</u>本規程によって行う。</p>	<p>(総則)</p> <p>第 1 条 役員選挙は、<u>定款第 19 条に基づき</u>本規程によって行う。</p>	<p>修正*1</p>
<p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和 5 年 3 月 21 日より施行する。</p> <p>3 この規程は、令和 7 年 3 月 02 日より施行する。</p> <p><u>4 この規程は、令和 7 年 8 月 09 日より施行する。</u></p>	<p>附 則</p> <p>1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この規程は、令和 5 年 3 月 21 日より施行する。</p> <p>3 この規程は、令和 7 年 3 月 02 日より施行する。</p>	<p>追加</p>

\* 1 : 定款改訂時に変更になっていたが気が付かなかったため。

### 会報投稿要領 新旧対照表

新	旧	備考欄
<p>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会報投稿要領</p> <p>2) ページ数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや研究会研修会の開催報告、施設紹介に関しては原則 2 ページ以内</li> <li>・その他の学術的な投稿やその他の記事に関しては原則 6 ページ以内 (ただし広報担当理事が認めればこの限りではない。)</li> </ul> <p>4) 写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷に適した明度、解像度の写真を使用する。明度は少し明るめるにすること。(モノクロ印刷でも見えるようにすること)</li> </ul> <p>5) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会や研修会の開催報告では、可能な限り演題ごとの発表内容の要約を載せること。</li> </ul>	<p>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会報投稿要領</p> <p>2) ページ数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや研究会研修会の開催報告、施設紹介に関しては原則 2 ページ以内 <del>(ただし広報担当理事が認めればこの限りではない。)</del></li> <li>・その他の学術的な投稿やその他の記事に関しては原則 6 ページ以内 (ただし広報担当理事が認めればこの限りではない。)</li> </ul> <p>4) 写真</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷に適した解像度の写真を使用する。</li> </ul> <p>5) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会や研修会の開催報告では、可能な限り演題ごとの発表内容の要約を載せてください。</li> </ul>	<p>削除</p> <p>追加 モノクロ印刷すると、どうしても暗くなるため</p> <p>修正</p>

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 行事・活動予定

2025年

4月	23日(水)	期末監査	坂元事務所
5月	1日(木)	令和7年度 第1回常務理事会	相良病院・Hybrid
	11日(日)	つながる想い in かごしま	かんまちあ
	18日(日)	表彰委員会	相良病院・Hybrid
	21日(水)	鹿児島CT研究会	WEB
	23日(金)	令和7年度 第1回 理事会	相良病院・Hybrid
	25日(日)	令和7年度 第1回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
6月	8日(日)	第104回定時総会及び春季学術大会	鹿児島市立病院・Hybrid
	8日(日)	令和7年度 第2回 理事会	鹿児島市立病院
	22日(日)	令和7年度 フレッシュャーズセミナー	南風病院・WEB
7月	5日(土)	第10回FRT九州研修会	佐賀
	12日(土)	第23回鹿児島県医療情報システム研究会	鹿児島市立病院・Hybrid
	16日(水)	第78回鹿児島消化器画像研究会および第28回鹿児島超音波研究会	WEB
	29日(火)	地域・部会・研究会を対象とした研究会開催についての意見交換会	WEB
	31日(木)	令和7年度 第2回常務理事会	WEB
8月	2日(土)	令和7年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会	ひらやま脳神経外科・Hybrid
	9日(土)	令和7年度 第3回 理事会	相良病院・Hybrid
	17日(日)	令和7年度 第2回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
9月	12~14日	第41回 日本診療放射線技師学術大会	福井
	20日(土)	第52回大隅地域研修会	大隅鹿屋病院
	23日(火)	令和7年度 甲状腺簡易測定研修	鹿児島県文化センター宝山ホール
	25日(木)	第62回鹿児島CT研究会	WEB
	26日(金)	第30回鹿児島MRI研究会	WEB
	27日(土)	第46回南薩地域研修会	鹿児島県立薩南病院・Hybrid
10月	12日(日)	第42回市民健康まつり	西原商会アリーナ
	15日(水)	第79回鹿児島消化器画像研究会および第29回鹿児島超音波研究会	WEB
11月	1日・2日	第20回九州放射線医療技術学術大会(鹿児島)	カクイックスホール
	22日(土)	予定_霧島始良地域・鹿児島県秋季学術大会	
12月	6日(土)	予定_放射線管理士部会 研修会	
	7日(日)	令和7年度 第3回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校

2026年

1月			
2月			
3月	7日(土)	予定_第47回南薩地域研修会	

## 漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、当該施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっています。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎  
☎0996-23-4418 (川内市医師会立市民病院放射線課) krt2@kagoshima-rt.jp

# 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会役員名簿

事務所住所 〒892-0861 鹿児島県鹿児島市東坂元4丁目28-11

2025-2026年度

役職名		氏名	所属
会長		大迫 俊一	相良病院
副会長		渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科
		恵 智徳	今村総合病院
常務理事	総務	市來 守	今村総合病院
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院
	学術	藤崎 誠	南風病院
	福利厚生	東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校
	広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院
	組織	木場 淳	鹿児島市医師会病院
	表彰	渡邊 義治	(兼務)
理事	総務	恵 智徳	(兼務)
		脇田 慎一	いづろ今村病院
		東 幸浩	(兼務)
		四本 斉	上町いまきいれ病院
		吉田 紫織	相良病院
	学術	愛下 剛	大井病院
		本村 克朗	鹿児島大学病院
		戸川 憲二	メディポリス国際陽子線治療センター
		竹尾 晃一	鹿児島医療センター
		武宮 太	(兼務)
	福利厚生	藤村 卓也	鹿児島医療技術専門学校
	財務	屋部 太輔	米盛病院
	地域理事	鹿児島	武宮 太
北薩		藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院
霧島・始良		坂口 右己	霧島市立医師会医療センター
大隅		熊谷 繁夫	昭南病院
南薩		木佐貫 克朗	加世田病院
大島		元 俊晶	鹿児島県立大島病院
監事		太田原 美郎	明輝会クリニック
		米山 光明	川内市医師会立市民病院(外部)

## 編集後記

秋とは名ばかりの暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？  
会報 143 号をお読みいただき、誠にありがとうございます。今回も皆様のご協力を得て無事発行できたことを、この場を借りて感謝申し上げます。

2025 年 6 月より大迫会長の元発足した新体制ですが、先日初めての『のんかた』を致しました。集まった面々を見ますと本当に頼もしい限りで、鹿児島県診療放射線技師会の活動もますます発展していきたくらうと確信をもてた日でもありました。

さて、今回の会報 143 号ですが、未来への第一歩と題しまして、会報誌等の電子化を検討する目的でアンケートを載せてあります。ハガキの返信もしくは 2 次元バーコードでご回答下さい。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びにはなりますが、今後も会員の皆さまに読んでいただける紙面作りを目指していきますので引き続き応援よろしくお願い致します。

(米重 亮馬)

### 鹿児島県診療放射線技師会 会報 第 143 号 (令和 7 年 9 月)

発行 : 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

発行人: 大迫 俊一

編集者: 米重 亮馬

印刷 : 株式会社 トライ社

鹿児島市南林寺町 12-6 099-226-0815

磁気共鳴診断装置

**MAGNETOM Flow**

# Empowering you.

[www.siemens-healthineers.com/jp](http://www.siemens-healthineers.com/jp)

Tackle to mega challenges in MRI by technological innovations.

**サステナブルで効率的な病院経営を支える**

**ヘリウムフリー\* 1.5T MRI 装置**

MAGNETOM Flowは、サステナブルな次世代型1.5T MRIプラットフォームで、日常の検査に抜本的な新しいフローをもたらします。

ヘリウムに依存しない超電導MRIの新時代を切り拓き、AIを活用した新たなイメージングプロセスを通じて、画期的なワークフローのシンプルさ、そして卓越した高品質の画像をかつてないスピードで提供します。

MAGNETOM Flowは、サステナブルで効率的なMRI検査運用を実現します。

\*液体ヘリウムは0.7リットルのみ使用



**SIEMENS**  
Healthineers

超電導磁石式全身用MR装置 MAGNETOM フロー 認証番号: 306AAB2X00051900

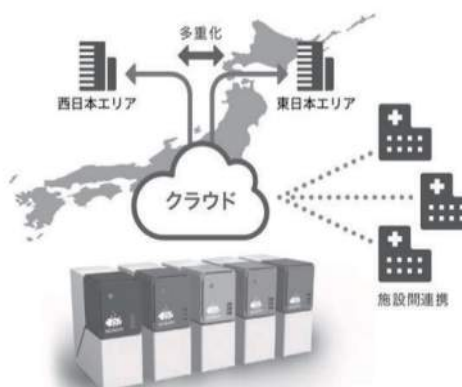


みんなの明日へ、医療情報クラウド。

**NOBORI**

## 次世代PACSは セキュアなクラウドサービスへ

「NOBORI」はIT技術によって、  
画像などの医療情報を安全に保管・利用できる  
新しいクラウドサービスです。



Feature 01

院内サーバ  
不要

Feature 02

スピーディーな  
画像参照

Feature 03

安心・安全の  
データ保管

Feature 04

初期投資  
ゼロ

Feature 05

障害自動検知

Feature 06

施設間連携  
にも対応



PSP株式会社 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング12階 TEL.03-5657-4315 [www.psp.co.jp](http://www.psp.co.jp)

# Canon

## 医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、  
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、  
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術<sup>#1</sup>を搭載。

# Aquilion ONE

## INSIGHT Edition



#1 自動化技術: 設計の段階で AI 技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておりません。  
【一般的名称】全身用X線CT診断装置 【販売名】CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A 【認証番号】305ACBZX00005000

B000893

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

# PHILIPS

✦  
Feel the freedom with  
BlueSeal MRI

Better care  
for more people

製造販売業者  
株式会社フィリップス・ジャパン  
[www.philips.co.jp/healthcare](http://www.philips.co.jp/healthcare)

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. または  
その他の会社の商標または登録商標です。  
© 2024 Koninklijke Philips N.V.



DO LESS.

CARE MORE.



# MEDRAD® Centargo CT Injection System

操作の時間は最小限に 患者さんへの思いやりは最大限に  
造影検査をさまざまな角度から効率化。より多くの時間を患者さんのケアのために。  
それは医療を行う上でとても大切なこと、MEDRAD® Centargoが目指すこれからの検査のかたち。

Clear Direction. ➤ From Diagnosis to Care.

PP-M-CEN-JP-0112-19-01

管理医療機器 / 多相電動式造影剤注入装置  
販売名 / Centargo CTインジェクションシステム  
認証番号 / 302AABZX00091000

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

お問合せ  
サービスコール 0120-60-9040  
24時間サービスコール対応



製造販売業者  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com

製品の詳細は、  
二次元コードから  
弊社Webサイトで  
ご覧いただけます。

nihon  
medi+physics



PET/SPECT

処方箋医薬品<sup>Ⓢ</sup>  
放射性医薬品・慢性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬

**FDGスキャン<sup>®</sup>注**  
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (<sup>18</sup>F) 注射液

処方箋医薬品<sup>Ⓢ</sup>  
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・甲状腺疾患診断薬・癌腫(脳・甲状腺・腸・骨・軟部・乳房) 診断薬

**塩化タリウム(<sup>201</sup>Tl)注NMP**  
日本薬局方塩化タリウム (<sup>201</sup>Tl) 注射液

処方箋医薬品<sup>Ⓢ</sup>  
放射性医薬品・慢性腫瘍診断薬・炎症性疾患診断薬

**クエン酸ガリウム(<sup>67</sup>Ga)注NMP**  
日本薬局方クエン酸ガリウム (<sup>67</sup>Ga) 注射液

処方箋医薬品<sup>Ⓢ</sup>  
放射性医薬品・骨疾患診断薬

**クリアボーン<sup>®</sup>注**  
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (<sup>99m</sup>Tc) 注射液

Ⓢ:登録商標  
注)注意・医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元  
**日本メジフィジックス株式会社**

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号  
文脈請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトで  
SPECT・PET検査について紹介しています。  
<https://www.nmp.co.jp> 2024年12月改訂

**Nemoto**

DUAL SHOT  
**GX10**

CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

NEW



販売名: 造影剤自動注入装置 デュアルショット GX10 / 認証番号: 304AHBZX00011Z00

株式会社 **根本杏林堂**

製造販売元: 埼玉県川口市青木2-12-23 / 販売元: 東京都文京区本郷2-27-20

※本製品の仕様及び外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。



Giving Shape to Ideas

多様な視点で未来をデザインする  
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

バッテリー内蔵“1.9kg”の軽量設計  
迅速なワークフローを実現

超軽量 高感度 高耐久

**AeroDR swift**  
1417HL

軽量化・把持性・高画質で、カセット撮影に変革を

バッテリー内蔵1.9kg	100 $\mu$ m画素/DQE59%*1	全周くぼみ設計
MIL規格*2	防水・防塵IP56*3	高耐久抗菌設計*4

AeroDR swiftは『デジタルラジオグラフィー-SKR3000』を構成するP-85(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。  
★KONICAMINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。★AeroDR swiftは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。★その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。\*1:1mR, 1cycle/mm (DQEの数値はTypical値です。)\*2:Method 516.7 Procedure IV Transit Drop(122cm(48インチ)の高さから、台板の上に6平方、12線源、8頂点、計26箇所を各1回落下させる。)本製品の耐衝撃性能は、無破損・無故障を保障するものではありません。\*3:IP規格(防水・防塵規格)は、IEC(国際電気標準化会議)によって定められています。本製品の防水・防塵性能は、完全防水・防塵、無破損・無故障を保障するものではありません。\*4:抗菌効果は全ての菌に有効ということではありません。また、抗菌は感染を完全に防げるわけではありません。

製造販売元: **コニカミノルタ株式会社** 販売元: **コニカミノルタ ジャパン株式会社** 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>





さまざまな検査を低線量・高画質でサポート

SONIALVISION G4 **LX** edition



製造販売認証番号 224ABZ2X00052000  
標準型デジタル式汎用X線造影診断装置 (X線テレビシステム SONIALVISION G4)  
標準型デジタル式汎用X線診断装置※, X線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフィ※  
二重エネルギー骨X線吸収測定装置※, 管理医療機器, 特定保守管理医療機器, 設置管理医療機器  
※本医療機器は複数の一般的な名前に該当します。



株式会社 島津製作所 医用機器事業部  
<https://www.med.shimadzu.co.jp>

お客様へ、正しさに基づく安心を  
ご提供いたします。



校正技術能力

年に1回

品質システム  
維持能力

維持管理能力

放射線測定器の校正を済ませましょう

正しい測定、確実な放射線・放射能管理を行うためには、使用する測定器が定期的に校正されている必要があります。弊社大洗研究所は、計量法に基づく、校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の登録業者です。国家標準とトレーサビリティが取れており、信頼性の高い校正サービスを提供いたします。



大洗研究所では、1972年から放射線標準を保有。計量法校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の校正事業者として登録。また、国際MRA対応認定事業者として、国際相互承認(Mutual Recognition Arrangement)加盟国に適用する認定マーク付きの校正証明書が発行可能です。

●弊社校正サービスは、ISO9001の要求事項(監視および計測機器の管理)に有効に活用できます。

※詳しくは下記までお問い合わせください。

放射線測定器校正サービス(一般校正)

**放射線測定器校正**

お問い合わせは

株式会社 **千代田テクノル**

E-mail: [ctc-master@c-technol.co.jp](mailto:ctc-master@c-technol.co.jp)

<https://www.c-technol.co.jp>

Creating a world where  
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】 9:00~18:00 ㊦・日・祝を除く

gehealthcare.com

JB09455JA



システムに  
求められるもの  
それは  
労力なしでプラスα

私たちメディカルクリエイトが、  
放射線業務を力強くトータル支援。

4つの管理

**RiSMEC**  
＜診断RIS＞  
診断部門の業務全般を管理  
予約管理～在庫管理、各種統計、  
撮数支援、業務量管理 etc

**RiSMEC-RT**  
＜治療RIS＞  
治療部門の業務全般を管理  
予約管理～カルテ管理、Webレポート、  
品質管理、データ抽出機能 etc

連携

**RiSMEC-DOSE**  
＜被ばく線量管理＞  
医療法施行規則に対応した  
被ばく線量の一元管理 PACS連携、  
モダリティ連携、データ検索 etc

**3mec**  
＜医療機器管理＞  
改訂医療法に準拠した、機器管理  
日常点検～保守点検、修理情報、  
費用管理、資産管理 etc

＜放射線業務を力強くサポートするシリーズ＞

<http://www.medical-create.com>



MEDICAL CREATE

株式会社メディカルクリエイト

TEL 082・568・1920 FAX 082・263・1586

〒732-0827 広島市南区福荷町1-1 ロイヤルタワー 504 営業所(東京・大阪・中四国・福岡・東北・開発センター)



# 患者と医療従事者の安全のために— RaySafeの線量測定ソリューション

## RaySafe i3

リアルタイム被ばく測定システム



RaySafe i3は、放射線被ばく線量を抑えるための迅速な対処ができるよう、医療従事者の被ばく状況をお知らせする個人線量計システムです。

## RaySafe X2

インテリジェントX線測定器



RaySafe X2は、大型タッチスクリーン式ベースユニットと、小型半導体センサーを組み合わせた、放射線診断QA用のシンプルなX線測定器です。



For All Your Tomorrows

**TOYO MEDIC**

## 東洋メディック株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-5

TEL. (03) 6825-1645

<https://www.toyo-medico.co.jp> E-mail [info@toyo-medico.co.jp](mailto:info@toyo-medico.co.jp)

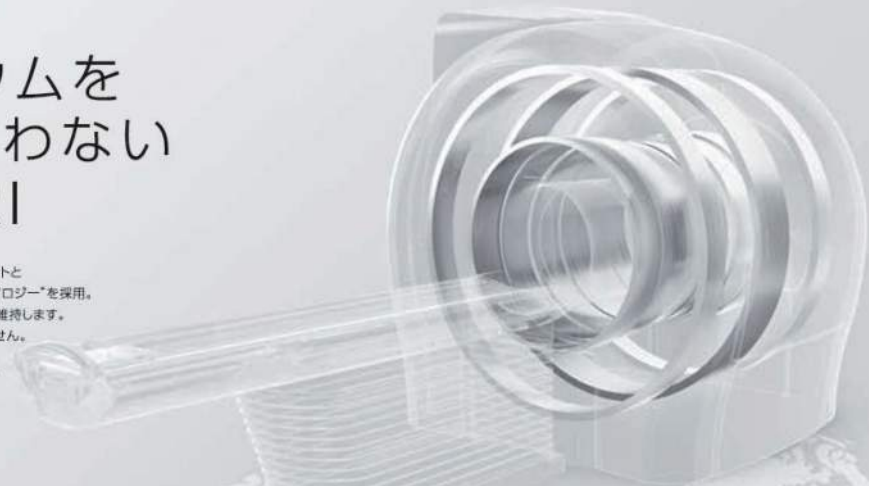
## FUJIFILM

Value from Innovation

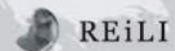
# 液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと  
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。  
液体ヘリウムをまったく使用せず極低温状態を維持します。  
液体ヘリウムによるクエンチ爆発率は発生しません。

[ZeroHelium]で取替事故や災害時への不安、  
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



**ECHELON Smart ZeroHelium**



※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

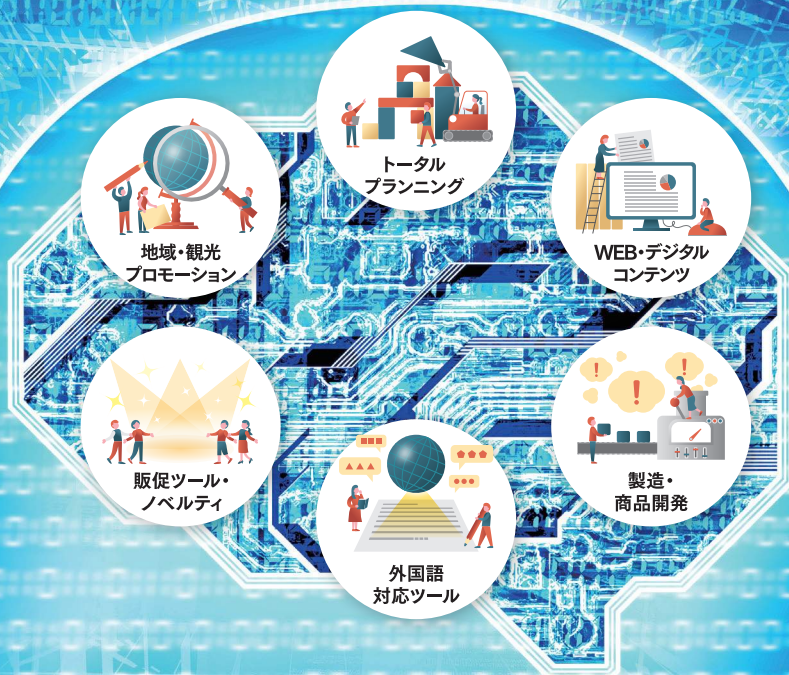
製造販売業者 富士フイルム株式会社  
販売業者 富士フイルム メディカル株式会社  
〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル  
[fujifilm.com/fms/](http://fujifilm.com/fms/)

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 保証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フイルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

# 発創をカタチに

～企画・デザイン・印刷・Web・動画～



「日本webユーザーズ協会」主催の  
「2025日本web大賞」において  
「協会特別賞(金賞)」を受賞

奄美の船旅ポータルサイト

<https://amami-shiptrip.jp/>

3Dプリンター+3Dスキャナー始めました。

株式  
会社 **トライ社**

【本社】鹿児島市南林寺町12-6

TEL.099-226-0815

【Web】<https://www.try-sha.com>



